

平成 26 年度 信州大学学生募集要項

一般入試



**SHINSHU
UNIVERSITY**

信州大学アドミッション・ポリシー

1 求める学生像

信州の悠久の歴史と文化，豊かな自然環境のもと，地域に根ざし世界に開かれた信州大学は，真理への探究心とチャレンジ精神を培い，高度な専門知識と深い思索力を基にして，課題を探究し解決する能力を備えた人材を育成します。

また，豊かな人間性と広い視野をもち，身につけた知識や技術を人類文化と社会の持続的発展に役立て，世界の平和と自然環境の保全のために活かすことのできる，意欲あふれる若者を育てます。

信州大学は，このような教育の理念・目標を実現するために，以下のような資質を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・ 人間と自然を愛し，人との出会いを通じて学び合おうとする人
- ・ 知的好奇心が旺盛で，課題に向かって主体的に行動できる人
- ・ 多様性を理解し受け入れ，独自性を大切にする人
- ・ 社会・環境・国際問題に関心をもち，世界に貢献したいと考える人

2 入学者選抜の基本方針

信州大学の教育の理念・目標に則り，各学部の特성에応じた適切な方法で多様な入試を実施し，大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的かつ公正に評価し，選抜します。

この「学生募集要項」は，入学手続きが完了するまで大切に保管してください。

また，入試情報の開示を求める際に必要となるページがありますので，情報開示を希望する方は，開示請求を済ませるまでの間は，大切に保管してください。

信州「知の森」で 将来を担う力を

信州大学長
山 沢 清 人



皆さんが大学進学を考える中で、信州大学に興味を持っていただいたことを、大変嬉しく思います。皆さんには、是非とも大学という場でさまざまなことを学び、20年後、30年後の社会を切り拓いていく力を身につけて欲しいと考えています。

さて、甚大な被害をもたらした東日本大震災から、早くも2年が過ぎました。この震災をきっかけとして、防災技術、原発の安全性など、日本社会の安全とエネルギー基盤技術に不安を感じる人が増えています。加えて先端科学技術、そしてその担い手である大学への不信に繋がりがねない状況も散見されました。しかし同時に、安全・安心な新しい社会システムの構築に資する人材は必須であり、若い有能な人材の育成を大学に託す機運も高まっています。より大きな視点から見れば、人類知の継承（教育）と新しい知の創造（研究）という、大学の社会的責務を果たすことがこれまで以上に強く要請されていると言えるのです。

そこで、信州大学では現在、信州「知の森」づくりを進めています。

「知の森」とは、さまざまな木々が信州の大地にしっかりと根を張り、澄んだ空に向かって枝を広げる、明るく、風通しよく、透明性の高い、英知の森を象徴する言葉です。この森で、高度な専門性を身につけ、人と自然を愛する心の豊かさを是非育てていただきたいと思います。

大学での自発的な学修（勉強）を通し、また、仲間たちとの切磋琢磨を通して、自分自身の能力を高め、人間としての豊かな心を培っていただきたいと思います。その誇りと自信を胸に、日本の将来に貢献してください。さらには、日本にとどまらず、世界に飛躍して活躍してくれることを願っています。

大学時代は、長い人生の中でもかけがえのない大切な時期です。この信州大学で、充実した楽しい大学生活を過ごされることを期待しています。

目 次

I 各学部に共通する事項	3
1 入学定員及び募集人員	3
2 試験期日及び試験時間割	4
3 選抜試験実施方式・併願	5
4 出願資格	5
5 出願手続	5
6 入学者選抜方法	9
7 合格者の発表	10
8 入学手続	10
9 追加合格	11
10 障害がある方の事前相談	12
11 個人情報の利用について	13
12 インターネットによる情報提供について	13
13 入試情報の開示について	13
II 学部別の事項	15
1 人文学部	アドミッション・ポリシー 15
	前期日程 15
	後期日程 17
2 教育学部	アドミッション・ポリシー 19
	前期日程 20
	後期日程 26
3 経済学部	アドミッション・ポリシー 31
	前期日程 32
	後期日程 34
4 理学部	アドミッション・ポリシー 36
	前期日程 36
	後期日程 40
5 医学部	アドミッション・ポリシー 44
	前期日程 45
	後期日程 47
6 工学部	アドミッション・ポリシー 50
	前期日程 50
	後期日程 52
7 農学部	アドミッション・ポリシー 55
	前期日程 55
	後期日程 58
8 繊維学部	アドミッション・ポリシー 60
	前期日程 61
	後期日程 63
III 入学志願票の記入例等	66
IV 各学部検査場案内	69

I 各学部に通ずる事項

1 入学定員及び募集人員

- (1) 入学定員には、AO入試（理学部及び農学部）、推薦入試（教育学部、経済学部、理学部、医学部、工学部、農学部及び繊維学部）、帰国子女入試（人文学部、理学部、工学部、農学部及び繊維学部）、中国引揚者等子女入試（工学部）、社会人入試（教育学部、医学部及び工学部）及び私費外国人留学生入試の募集人員を含んでいます。
- (2) AO入試（理学部）の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に、AO入試（農学部）及び推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を前期日程の募集人員に、それぞれ加えます。

学部	学科・課程・系等		入学定員	募集人員		
				前期日程	後期日程	合計
人文学部	人文学科		155	135	20	155
	計		155	135	20	155
教育学部	学校教育 教員養成 課程	現代教育コース	220	20	4	24
		国語教育コース		12	3	15
		英語教育コース		7	3	10
		社会科教育コース		16	3	19
		数学教育コース		18	3	21
		理科教育コース		15	5	20
		音楽教育コース		8	3	11
		図画工作・美術教育コース		9	2	11
		保健体育コース		9	3	12
		ものづくり・技術教育コース		8	4	12
	家庭科教育コース	10	3	13		
	小計			132	36	168
	特別支援学校教員養成課程		20	10	5	15
	生涯スポーツ 課程	地域スポーツコース	25	7	3	10
		野外教育コース		3	2	5
小計		10		5	15	
教育カウンセリング課程		15	13	2	15	
計		280	165	48	213	
経済学部	経済学科		125	85	15	100
	経済システム法学科		60	40	10	50
	計		185	125	25	150
理学部	数理・自然情報科学科		55	25	27	52
	物理科学科		35	20	10	30
	化学科		35	15	15	30
	地質科学科		30	10	15	25
	生物科学科		30	15	15	30
	物質循環科学科		25	10	10	20
計		210	95	92	187	
医学部	医学科		120	55	45	100
	保健学科	看護学専攻	70	50	10	60
		検査技術科学専攻	37	23	9	32
		理学療法学専攻	18	15	3	18
		作業療法学専攻	18	15	3	18
	小計		143	103	25	128
計		263	158	70	228	
工学部	機械システム工学科		80	55	—	55
	電気電子工学科		95	65	—	65
	土木工学科		45	32	—	32
	建築学		50	38	11	49
	物質工学科		60	38	—	38
	情報工学科		90	30	20	50
	環境機能工学科		50	30	10	40
計		470	288	41	329	
農学部	食料生産科学科		62	40	10	50
	森林科学科		61	29	12	41
	応用生命科学科		52	25	15	40
	計		175	94	37	131
繊維学部	繊維・感性 工学系	先進繊維工学課程	30	10	10	20
		感性工学課程	30	10	10	20
		小計	60	20	20	40
	機械・ロボット学系		55	25	20	45
	化学・材料系		110	60	32	92
応用生物科学系		50	20	20	40	
計		275	125	92	217	
合計			2,013	1,185	425	1,610

2 試験期日及び試験時間割 (詳しくは 15 ページ以降の各学部の説明事項を参照してください。)

学部	前期日程		後期日程					
	2月25日(火)	2月26日(水)	3月12日(水)	3月13日(木)				
人文	総合問題 13:30~16:30	—	小論文 13:30~15:30	—				
教育	数学 (I・II・III・A・B・C) 数学 (I・II・A・B) 物理, 化学, 生物, 地学 9:00~11:00	実技検査(美術) 9:00~12:00	実技検査(運動) 9:00~17:30 頃	—				
	国語 英語 13:00~14:30	小論文 13:00~14:30	実技検査(音楽) 10:00~17:30 頃					
	地理歴史, 公民 15:30~17:00	実技検査(音楽) 実技検査(運動) 10:00~17:30 頃	面接 13:00~17:30 頃					
経済	数学 9:30~11:30	—	個別学力検査等は課さない。	—				
	国語 外国語 13:30~15:00							
理	数学 [数理・自然情報科学科] 小論文 [物質循環学科] 9:30~12:30	—	個別学力検査等は課さない。 [物理科学科]	—				
	面接 [地質科学科, 生物科学科] 9:30~16:30		小論文 [化学科] 9:30~12:00					
	理科 [化学科] 13:00~14:30		数学(数学III・数学C), 理科 [数理・自然情報科学科, 地質科学科, 生物科学科, 物質循環学科] 9:30~12:00					
	理科 [物理科学科] 13:00~15:00		数学(数学I・数学II・数学A・数学B) [数理・自然情報科学科, 地質科学科, 生物科学科, 物質循環学科] 14:00~16:00					
医	医学科 数学 9:30~12:00 外国語 13:30~15:00 小論文 16:00~17:00	面接 9:00~	医学科 数学 9:30~12:00 外国語 13:30~15:00	個別面接 (該当者のみ。(49 ページ参照)) 9:00~				
					保健学科 数学 9:30~11:30 外国語 13:30~15:00	—	保健学科 面接 9:00~	—
	理科 13:00~15:00	農	理科 [食料生産科学科, 応用生命科学科] 13:00~14:30	—	面接[食料生産科学科, 応用生命科学科] 9:00~	—		
小論文 [森林科学科] 13:00~14:30	小論文 [森林科学科] 9:00~11:00	織維	理科 9:30~10:45		—			
理科 13:00~14:30	—	数学 11:30~13:10	—					

3 選抜試験実施方式・併願

本学は、学部・学科等の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」によりそれぞれ入学者を募集する「分離分割方式」で入学者選抜を実施します。

国公立大学への志願者は、「前期日程」で募集する大学・学部から一つ、「後期日程」で募集する大学・学部から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができます。

したがって、「前期日程」と「後期日程」の併願はできますが、「前期日程」と「前期日程」、「後期日程」と「後期日程」のそれぞれの併願はできませんので注意してください。

また、本学の学内併願についても、「前期日程」で募集する学部・学科等から一つ、「後期日程」で募集する学部・学科等から一つ、合計二つの学部又は同一学部の二つの学科等に出願することができます。

なお、併願の場合は、それぞれに出願書類を提出し、入学検定料を納めなければなりません。

4 出願資格

出願資格がある方は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、志望する学部・学科等が指定する平成26年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した方とします。(15ページからの「Ⅱ学部別の事項」中の、各学部の大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等を参照してください。)

- (1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含みます。以下この学生募集要項において単に「高等学校」といいます。）を卒業した方又は平成26年3月卒業見込みの方
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方又は平成26年3月修了見込みの方
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号までの規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる方又は平成26年3月31日までにこれに該当する見込みの方
- (4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる方又は平成26年3月31日までにこれに該当する見込みの方で、平成26年3月31日までに18歳に達する方（次の（注）をご覧ください。）

（注）上記出願資格(4)に該当する方で、平成26年度大学入試センター試験の受験後に個別の入学資格審査を希望する方は、次により申請してください。

- ・申請期限：平成26年1月21日（火）（17時まで必着）
- ・申請書等：申請書等手続については、本学学務部入試課（電話：0263-37-2192）に問い合わせてください。なお、この「個別の入学資格審査」については、本学のホームページ（入試情報／入試に関するお知らせ）に掲載しています。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)

※ 出願資格の詳細については、「平成26年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」の6～10ページを参照してください。

5 出願手続

(1) 出願期間

前期日程及び後期日程とも下記期間とします。

平成26年1月27日（月）から2月5日（水）まで

- ① 持参による受付は8時30分から17時までとし、土曜日と日曜日は受け付けません。
（医学部は郵送のみとします。ただし、平成26年2月5日（水）（出願締切日）に限り持参による提出も受け付けます。）
- ② 郵送による場合は、指定の封筒（書留速達郵便）によるものとします。出願締切日を過ぎて到着した場合は、**平成26年2月4日（火）までの消印**があるものに限り受け付けま

す。

なお、1月29日（水）からインターネットで出願状況をお知らせします。詳しくは13ページの「12 インターネットによる情報提供について」を参照してください。

(2) 出願方法

出願書類等は、この募集要項に添付する封筒（「前期日程用」又は「後期日程用」）に一括して入れ、出願期間内（郵送の場合は平成26年2月4日までの消印有効）に志望する学部へ郵送（書留速達に限ります。）又は持参してください。（医学部は郵送のみ。）また、出身学校を経て提出する場合、学校は志願者各人の必要書類を指定の封筒（「前期日程用」又は「後期日程用」）に入れ、当該学校の分を一括して提出してください。

なお、5ページの「4 出願資格（4）」で、個別の入学資格審査により「信州大学入学資格認定書」の交付を受けた方は、その写しを添付してください。

（注）本学の「前期日程」と「後期日程」の二つの日程に併願する場合には、それぞれの日程の指定の封筒に入れて別々に提出してください。

(3) 出願書類等提出先

提出先		問い合わせ先(電話)
人文学部 入試事務室	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	0263-37-3458
経済学部 入試事務室		0263-37-3312
理学部 入試事務室		0263-37-2439
医学部医学科 入試事務室		0263-37-2580
医学部保健学科 入試事務室		0263-37-2357
教育学部 入試事務室	〒380-8544 長野市西長野 6 の口	026-238-4044
工学部 入試事務室	〒380-8553 長野市若里 4-1 7-1	026-269-5055
農学部 入試事務室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8 3 0 4	0265-77-1310
繊維学部 入試事務室	〒386-8567 上田市常田 3-1 5-1	0268-21-5310

(4) 出願書類等

	出願書類等	摘要
1	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 入学志願票(A)(B) ◎ 受験票 ◎ 写真票 	<p>この募集要項に添付する用紙（「前期日程（水色）」・「後期日程（ピンク色）」）に所要事項を記入してください。受験票、写真票には出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしの写真（縦4cm×横3cm、白黒・カラーは問いません。）を指定欄に貼ってください。検査場において不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。受験票、写真票とも同じ写真を使用してください。</p> <p>なお、写真用紙以外の紙に印刷された写真は使用できませんので、ご注意ください。</p> <p>（注）「入学志願票(A)(B)」の記入にあたっては、66ページからの「Ⅲ 入学志願票の記入例等」を参照してください。</p>
2	大学入試センター試験成績請求票 <input type="checkbox"/> 国公立前期日程用 <input type="checkbox"/> 国公立後期日程用	大学入試センターから交付された平成26年度大学入試センター試験成績請求票のうち、前期日程出願者は「 <input type="checkbox"/> 国公立前期日程用」、後期日程出願者は「 <input type="checkbox"/> 国公立後期日程用」をそれぞれの志願票（B面）の指定欄に貼ってください。

3	調 査 書	<p>① 高等学校を卒業した方又は平成26年3月卒業見込みの方は、出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成のうえ厳封したものでなければなりません。</p> <p>(注)「指導に関する記録」の保存期間(5年)を超えている場合、その記載を省略したものを提出しても構いません。また、「学籍に関する記録」の保存期間(20年)を超えたため、あるいは廃校、被災その他の事情により出身学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書及び成績証明書又は単位取得証明書、成績通信簿の写し等、入学志願者が提出できる書類をもって調査書に代えることができます。</p> <p>② 高等専門学校第3学年を修了した方又は平成26年3月修了見込みの方並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方又は平成26年3月修了見込みの方は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えることができます。</p> <p>③ 高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。</p> <p>ただし、高等学校等において科目を修得したことにより受験科目を免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を添えてください。</p> <p>④ 外国において学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣の指定したもの及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した方は成績証明書、国際バカロレア資格取得者及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格取得者は試験成績証明書、ドイツ連邦共和国のアビトゥア資格取得者は一般的大学入学資格証明書をもって調査書に代えることができます。</p> <p>⑤ 本学に個別の入学資格審査を申請し、入学資格を認められた方は、調査書に代えて信州大学入学資格認定書(写)を提出してください。</p> <p>(注意) 本学の「前期日程」、「後期日程」の二つの日程に併願する場合には、それぞれの日程について、1通ずつ提出してください。</p>
4	◎入学検定料納付確認書 (A票)	<p>① 入学検定料17,000円をこの募集要項に添付する振込依頼書(C票)を使用して、平成26年1月20日(月)から2月5日(水)までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途振込手数料が必要です。なお、郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込みはできません。また、ATM(現金自動預支払機)、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。</p> <p>② 振込み後、納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書(A票)を提出してください。</p> <p>また、「取扱金融機関収納印」欄に、平成26年2月5日(出願期間最終日)までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込まれる場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。</p> <p>③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。</p>

5	◎受験票等送付用封筒	この募集要項に添付する封筒〔長形3号（23.5cm×12cm）〕に入学志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、360円分の切手（速達料を含む。）を貼ってください。
6	◎ラベル票	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。
7	医学部 医学科のみ 該当	◎志願調書 医学部医学科の志願者は、この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。
	◎出願書類等到着通知はがき（後期日程）	医学部医学科後期日程志願者は、この募集要項に添付するはがきに入学志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、50円分の切手（速達を希望する場合は320円分の切手）を貼ってください。
8	教育学部のみ 該当	◎教育学部実技検査（音楽）受験曲目届及び声楽の伴奏用楽譜（前期日程・後期日程） 教育学部音楽教育コース志願者は、次のとおり提出してください。 ○前期日程・後期日程…実技検査（音楽）受験曲目届 ○前期日程…「必須」声楽の伴奏用楽譜（全員提出） 声楽を選択する方は「選択」声楽の伴奏用楽譜も別途提出してください。 （様式については23ページ「6 実技検査の内容」を参照） ○後期日程…声楽の伴奏用楽譜 （様式については29ページ「5 実技検査の内容」を参照）
		◎教育学部実技検査（美術）受験曲目届（前期日程） 教育学部図画工作・美術教育コース志願者のうち実技検査を選択受験する方は、提出してください。
		◎教育学部実技検査（運動）選択曲目届（前期日程） 教育学部保健体育コース、地域スポーツコース、野外教育コース志願者は、提出してください。
		◎教育学部実技検査（運動）受験曲目届（後期日程） 教育学部保健体育コース、地域スポーツコース、野外教育コース志願者は、提出してください。

【出願書類等記入上の注意】

- ・◎印は、本学指定の様式（この募集要項に添付する出願書類等郵送用封筒に同封されています。）
- ・黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
- ・誤って記入した場合は、誤った箇所を二重線で消し、訂正してください。
- ・※印欄は記入しないでください。

(5) 出願に際しての注意事項

- ① 国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除きます。以下同じ。）の推薦入試の合格者は、当該推薦入試を実施した大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学各学部の個別学力検査等を受験しても、合格者とはなりませんので注意してください。
※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照
- ② 国公立大学・学部のAO入試の合格者は、当該AO入試を実施した大学・学部の定める入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて、本学各学部の個別学力検査等を受験しても、合格者とはなりませんので注意してください。
- ③ 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ④ 出願書類等を提出した後、10日間を経過しても「受験票」又は「出願書類等到着通知」が

到着しないなど、出願学部の入試事務室からの連絡がない場合は、同事務室に電話で問い合わせてください。

- ⑤ 受理した出願書類は、出願受け付け後に大学入試センター試験の受験科目の不足等により出願資格がないことが判明した方以外には、どのような事由があってもお返しできません。
- ⑥ 納入済みの検定料は、出願書類を受理した後は2段階選抜における第1段階選抜の結果不合格となった方及び出願受け付け後に大学入試センター試験の受験科目の不足等により出願資格がないことが判明した方以外にはお返しできません。

なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入試情報／入学検定料返還手続）をご覧ください。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)

（注）第1段階選抜の結果不合格となった方に対しては、検定料17,000円のうち13,000円をお返しします。なお、返還手続については、不合格通知書に同封しお知らせします。

また、出願受け付け後に大学入試センター試験の受験科目の不足等により出願資格がないことが判明した方に対しては、出願書類及び検定料17,000円のうち13,000円をお返しします。なお、検定料の返還手続については、出願書類をお返しする際に同封しお知らせします。

- ⑦ 出願書類等の志望学部、学科、課程、コース、専攻及び系の変更は、認めません。
- ⑧ 受験科目は、志願票に記入したもののからの変更は、認めません。
- ⑨ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消します。
- ⑩ 出願書類等の提出後、受信場所（志願者連絡先）を変更した場合は、直ちに出席した学部入試事務室に届け出てください。

6 入学者選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、本学が実施する個別学力検査等の成績及び調査書の内容（医学部医学科については、志願調査書の内容を加えます。）を総合して行います。

ただし、経済学部後期日程及び理学部物理科学科後期日程においては、個別学力検査等を課しません。

- (2) **2段階選抜**

医学部医学科の後期日程では、綿密な選抜を実施するため、志願者数が募集人員の20倍を超えた場合には、2段階選抜を実施します。

詳細については、47ページを参照してください。

- (3) **不正行為**

次のことをすると不正行為となることがあります。不正行為となった場合は、それ以後の受験はできません。また、すでに受験した本学のすべての教科・科目の成績も無効となります。

- ① カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ② 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ③ 受験票・写真票に本人以外の写真を貼ること。
- ④ 解答用紙に故意に虚偽の記入（本人以外の受験番号を記入するなど）をすること。
- ⑤ 「解答ははじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑥ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑦ 試験時間中に使用を許可されたもの以外の用具を使用して問題を解くこと。
- ⑧ 試験時間中に携帯電話や電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑨ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。
- ⑩ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」等の指示に従わず、鉛筆や消し

ゴムを持っていたり解答を続けること。

- ⑪ 自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ⑫ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑬ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑭ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

(4) 過去問題の使用

- ① 本学及び各学部の「アドミッション・ポリシー」に沿った選抜を実現するため、必要な範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- ② 入試過去問題を使用して出題する際は、そのまま使用することもありますし、一部を改変することもあります。
- ③ 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のURLをご覧ください。
<http://www.nyushikakomon.jp/>

7 合格者の発表

各学部とも、次の表に示す日時に当該学部構内掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書及び入学手続書類を発送し、公式発表とします。(不合格の方には通知しません。)

また、信州大学ホームページ(入試情報)及び信州大学携帯電話サイトにも合格者の受験番号を速報掲載しますが、必ず公式発表を確認してください。

なお、電話やメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

ホームページアドレス <http://www.shinshu-u.ac.jp/>

携帯電話サイトアドレス <http://daigakuic.jp/shinshu-u/>



学 部	前 期 日 程	後 期 日 程
人 文 学 部	平成26年3月 6日 (木) 10時	平成26年3月20日 (木) 10時
教 育 学 部	平成26年3月 6日 (木) 16時	平成26年3月20日 (木) 16時
経 済 学 部	平成26年3月 6日 (木) 15時	平成26年3月20日 (木) 15時
理 学 部	平成26年3月 6日 (木) 15時	平成26年3月20日 (木) 10時
医 学 部	平成26年3月 6日 (木) 10時	平成26年3月20日 (木) 10時
工 学 部	平成26年3月 6日 (木) 16時	平成26年3月20日 (木) 16時
農 学 部	平成26年3月 6日 (木) 10時	平成26年3月20日 (木) 10時
織 維 学 部	平成26年3月 6日 (木) 10時	平成26年3月20日 (木) 10時

(注) 後期日程の出願者で、前期日程(本学を含む国公立大学)に合格し、当該大学の入学手続を行った方は、後期日程を受験していても、本学の後期日程の合格者とはなりません。

8 入学手続

合格者は、入学手続期間内に入学料を納入するとともに、原則として**郵送**により必要な書類を提出してください。

なお、詳細については、合格通知書に同封しお知らせしますので、必ずご覧ください。

(1) 入学手続期間

前期日程	平成26年3月 7日（金）～3月15日（土）締切日17時まで に必着
後期日程	平成26年3月24日（月）～3月27日（木）締切日17時まで に必着

※1 持参する場合の入学手続の受付時間は、8時30分から17時までとします。

※2 3月8日（土）及び9日（日）は、受け付けません。

(2) 入学手続書類提出先

各学部入試事務室（6ページの「5（3）出願書類等提出先」と同じです。）

書類が揃わない等の事情により、郵送では間に合わない方は、締切日の17時まで、各学部入試事務室又は学務部入試課へ直接持参してください。

(3) 納付金の納入等

① 初年度納付金（入学料・授業料）の額

ア 入学料 282,000円

イ 授業料（前・後期）各267,900円〔年額 535,800円〕

（注）金額は平成25年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。

② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度（授業料のみ）がありますので、希望される方は、合格通知書に同封される入学料免除・授業料免除等に関する書類をよく読んで願ひ出てください。

(4) 手続に当たっての注意事項

① 入学手続書類を受領したら、なるべく早く入学手続を行ってください。

② それぞれ定められた入学手続締切期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

③ 本学への入学手続を完了した方は、これを取り消して他の国公立大学への入学手続を行うことはできません。

また、同様に、他の国公立大学への入学手続を完了した方は、これを取り消して本学への入学手続を行うことはできません。

(5) 提出書類等

本学入学に必要な誓約書、学生カードなど提出すべき書類については、学部によって異なるので、合格通知書に同封しお知らせします。

（注）入学手続には、「平成26年度大学入試センター試験の受験票」及び「本学の受験票」が必要となりますので、絶対に紛失しないでください。

9 追加合格

平成26年3月27日（木）の入学手続締切後、入学手続完了者が募集人員に満たないときは、追加合格を行います。追加合格者には3月28日（金）から3月31日（月）までの間に入学志願票に記載されている「受信場所（志願者連絡先）」へ電話により直接連絡しますので、直ちに本人に電話連絡がとれるようにしておいてください。

（注）(1) 他の国公立大学への入学手続を完了した方は、それを取り消して本学の追加合格による入学手続を行うことはできません。

(2) 本学の前期日程・後期日程の合格者で、それぞれの入学手続期間に入学手続を行わなかった方は、追加合格の対象とはしません。

なお、3月27日（木）入学手続締切後から3月31日（月）までインターネットで追加合格実施状況をお知らせします。詳しくは13ページの「12 インターネットによる情報提供について」を参照してください。

10 障害がある方の事前相談

この募集要項により本学に入学を志願する方で、障害（別表参照）があり受験上及び修学上特別な配慮を必要とする方は、出願の前に、下記事項を記載した書面（様式は問いません。）を提出してください。なお、重度の障害がある方は、できる限り早い時期に相談してください。

（注）日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの措置が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は障害がある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害がある方の受験や修学を制限するものではありません。

（1）提出期限 平成 26 年 1 月 24 日（金）まで

（2）書面に記載する内容

- ① 氏名、住所、電話番号
- ② 出身学校名
- ③ 志願学部、学科等（第 2、第 3 志望がある場合、それも記載してください。）
- ④ 出願を希望する入試（前期日程・後期日程の別）
- ⑤ 障害の種類・程度（現に治療中の方は、医師の診断書を添付してください。）
- ⑥ 受験上特別な配慮を希望する事項（大学入試センターから「受験特別措置決定通知書」の交付を受けた方は、複写（コピー）したものを添付してください。）
- ⑦ 修学上特別な配慮を希望する事項
- ⑧ 出身学校でとられていた修学上特別な配慮
- ⑨ 日常生活の状況

（3）提出先及び問い合わせ先

信州大学学務部入試課 〒390-8621 松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2192

（4）提出期限後の不慮の事故等による場合の特別な配慮

提出期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その際にご相談ください。

〈別表〉

区分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
その他	上記以外で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする程度のもの

（参考：学校教育法施行令第 22 条の 3、発達障害者支援法第 2 条）

11 個人情報の利用について

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

また、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、可否及び入学手続等に関する情報を、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

12 インターネットによる情報提供について

次の事項について、インターネットによりお知らせします。

信州大学ホームページ(入試情報)又は信州大学携帯電話サイトにアクセスしてください。

ホームページアドレス <http://www.shinshu-u.ac.jp/admission>

携帯電話サイトアドレス <http://daigakujc.jp/shinshu-u/>



① 出願状況について

期 間	平成 26 年 1 月 29 日 (水) ～3 月 12 日 (水) まで
情報の更新	志願者数が確定するまでの間、毎日 18 時 30 分頃更新します。 ただし、土曜日、日曜日及び祝日は更新しません。

② 合格者受験番号(速報)について

期 間	前期日程：合格発表日～3 月 15 日 (土) まで 後期日程：合格発表日～3 月 27 日 (木) まで ※ 必ず公式発表(合格通知書又は各学部の掲示板)で確認してください。
-----	--

③ 追加合格実施状況について

期 間	平成 26 年 3 月 27 日 (木) 入学手続締切後～3 月 31 日 (月) まで
-----	--

13 入試情報の開示について

本選抜に係る入試情報を次のとおり開示します。

(1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数

開示方法：ホームページ

開示時期：平成26年4月以降

ホームページアドレス <http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>

(2) 試験成績等

① 合格最高点・最低点及び合格者の平均点等についての資料

各学部とも学科・課程・コース・専攻・系ごとに開示します。教育学部は課程・コースごとに受験者の平均点も開示します。ただし、合格者が 10 名未満の学科等については、非開示とすることがあります。

② 出題意図等

人文学部	総合問題，小論文	医学部	数学，小論文，外国語
教育学部	小論文	工学部	数学，理科
経済学部	国語，数学，外国語	農学部	理科，小論文
理学部	数学，理科，小論文	繊維学部	数学，理科

開示方法 : 各学部ホームページ

開示時期 : 平成26年4月以降

(3) 個人情報

① 試験成績

人文学部	センター試験，個別学力検査等の科目ごとの得点と総合点並びに総合点の順位
経済学部	センター試験及び個別学力検査（注1）の得点（注2）の総合点による学科別順位 （注1）後期日程はセンター試験のみ （注2）前期・個別学力検査で得点調整を行った場合は調整後の得点
教育学部 理学部 工学部 農学部 繊維学部	センター試験，個別学力検査等の科目ごとの得点と総合点並びに学科（課程・コース・系）別総合判定ランク区分
医学部	センター試験，個別学力検査の科目ごとの得点と合計点並びに総合判定結果

② 調査書（客観的事実に係る記録部分）

開示方法 : ①の試験成績は，開示請求による郵送を原則とします。

②の調査書は，窓口での閲覧のみとします。

請求者 : 原則として受験者本人とします。

請求方法 : 「入試情報開示請求願」に所要事項を記入し，下記の開示請求先に郵送（又は持参）してください。

なお，「入試情報開示請求願」は，本学のホームページ（入試情報／入試成績等の開示）からダウンロードしてください。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>)

※ 受験者本人であることを確認するとともに，受験番号を照合するため，**本学の受験票を必ず添付してください。**

※ 試験成績の郵送を希望する場合は，返信用封筒〔長形3号（23.5 cm×12 cm）に郵便番号，住所，氏名を明記し，簡易書留料金を含む390円分の切手を貼ったもの〕を同封してください。

受付期間 : 平成26年5月12日（月）～5月23日（金）

※ 郵送の場合は，5月23日の消印有効

※ 持参の場合は，平日の8時30分から17時までとします。

開示時期 : 平成26年7月中旬以降

開示請求先 : 信州大学学務部入試課

〒390-8621 松本市旭3-1-1 電話 0263-37-3450

II 学部別の事項

1 人文学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/>)

〈アドミッション・ポリシー〉

理念

信州の大自然の織りなす四季のもと、都会の喧噪とほどよく距離をたもちつつ、時代や人間を見る確かな目と、他者や自然と共生できる豊かな感性をはぐくむ教育を行います。複雑多様化し混迷する現代社会のあらゆる局面で、不断に根源的な思索を試み、それらに批判的・創造的にかかわっていくことのできる「実践知」を身につけた、新しい時代の人文人（ネオ・フマニスト）を育成します。

教育目標

人文学部では「実践知」を、その教育目標に掲げています。

「実践知」とは、知を運用する力、機動する知であり、現実の社会に働きかける、のびやかで生き生きとした知の力を指します。

具体的には、以下のさまざまな力などをまとめ、一言で表した言葉が「実践知」です。

- ◎ 心と思考の実践知
 - ・ 自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力
 - ・ 変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力
 - ・ 過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力
 - ・ 異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力
- ◎ 技と行動の実践知
 - ・ 情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー
 - ・ 他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー
 - ・ グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力
 - ・ 領域横断的な事柄に対する問題解決能力および独創的な企画構想能力

求める学生像

人文学部は、教育目標「実践知」を習得するために必要な素養を備えた、次のような人たちを積極的に受け入れます。

- ・ 人間、社会、歴史、文化、言語、文学、情報、芸術などに興味や関心を抱く人
- ・ それらを探究し表現することに喜びを感じる人

大学入学までに身につけておくべき教科・科目

人文学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記「求める学生像」の観点を満たす人であるかどうかをはかるものです。前期日程では、大学入試センター試験で得意な3教科3科目（又は4科目）を選び受験することを可能にしつつ、個別学力検査では特定の教科・科目に限定されない「総合問題」を課しています。また、後期日程では、大学入試センター試験で5教科（又は6教科）7科目を課し、総合的な基礎学力を問いつつ、個別学力検査では特に読解力や表現力等を問う「小論文」を課しています。

従って、前期日程・後期日程とも、特定の教科・科目に偏ることなく、高校までに学習するすべての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

〈前期日程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
人 文 学 科	1 3 5 人
計	1 3 5 人

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等
国語		「国語」	
数学	①	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」	左欄から1教科 1科目又は2科目※
	②	「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	
地理歴史		「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」	左欄から 1教科1科目
公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
理科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

※印は、数学を選択した場合は配点の関係上、数学①から1科目及び数学②から1科目のあわせて2科目を受けることになり、大学入試センター試験利用科目全体としては「3教科4科目」となります。

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

3 個別学力検査等実施内容—採点・評価基準

「総合問題」

「総合問題」とは、センター試験では計れない読解力、思考力、表現力、想像力などを、高等学校で学習したことを基にして総合的に問う問題です。

4 個別学力検査等実施日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期日	教科等	時間
2月25日（火）	総合問題	13:30～16:30

(2) 検査場

受験者は、あらかじめ届け出た検査場で受験しなければなりません。届け出た検査場の変更は認めません。

〈松本検査場〉 信州大学松本キャンパス

松本市旭3-1-1

〈東京検査場〉 國學院大學渋谷キャンパス

東京都渋谷区東4-10-28

〈大阪検査場〉 大阪医科大学本部キャンパス

大阪府高槻市大学町2番7号

受験する検査場は受験票に明示し、その詳細については、受験票に同封して通知します。

（69ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。）

（注） 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 大学入試センター試験、個別学力検査等の配点及び合否判定基準

大学入試センター試験						個別学力検査等	合計
国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	総合問題	
(200)	(100)	(100)	(200)	(100)	200	300	800

注1 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

注2 「国語」及び「数学」の2教科を受験した方については、いずれか得点の高い教科の成績を利用します。

注3 『「地理歴史」又は「公民」』及び「理科」の2教科を受験した方については、いずれか得点の高い教科の成績を利用します。

注4 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第2解答科目の成績は利用しません。

注5 「理科」を2科目受験した方については、第2解答科目の成績は利用しません。

注6 「地理歴史」、「公民」から2科目と「理科」から2科目受験した方については、「地理歴史」、「公民」の第1解答科目、「理科」の第1解答科目のうち、得点の高い科目の成績を利用します。

注7 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。

注8 大学入試センター試験と個別学力検査等の合計点（本学部の定める配点に基づく）、及び調査書の内容を総合して判定します。

6 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。

〈後期日程〉

1 募集人員

学 科	募集人員
人 文 学 科	20人
計	20人

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等
国語		「国語」	左欄の科目
地理歴史		「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」	左欄から2科目※
公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
数 学	①	「数学I」, 「数学I・数学A」	左欄から1科目
	②	「数学II」, 「数学II・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から2科目 （「理科」を1科目以上受験してください。）
理 科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理I」, 「化学I」, 「生物I」, 「地学I」	
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

※印は、「地理歴史」及び「公民」から1科目ずつ選択した場合は2教科を受けることになり、大学入試センター試験利用科目全体としては「6教科7科目」となります。

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2 「公民」においては、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

注3 「英語」はリスニングを課します。

3 個別学力検査等実施日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	教 科 等	時 間
3月12日（水）	小論文	13：30～15：30

(2) 検査場

後期日程の検査場は、松本検査場のみとなります。

〈松本検査場〉 信州大学松本キャンパス 松本市旭3-1-1

受験する検査場は受験票に明示し、その詳細については、受験票に同封して通知します。

(69ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

4 大学入試センター試験、個別学力検査等の配点及び合否判定基準

大学入試センター試験						個別学力検査等	合 計
国 語	地理歴史	公 民	数 学	理 科	外国語	小論文	
100	100	50	(100) ※	100	200	650	

※ 「数学②」及び「理科」2科目の計3科目受験した方については、『「数学②」と「理科」の第1解答科目』及び『「理科」2科目』のうち、いずれか得点の高い組合せの成績を利用します。

注1 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

注2 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。

注3 大学入試センター試験と個別学力検査等の合計点（本学部の定める配点に基づく）、及び調査書の内容を総合して判定します。

5 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。

2 教育学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/>)

〈アドミッション・ポリシー〉

理 念

教育学部は、信州の恵まれた自然環境と教育を尊重する県民の気風や風土の中で、豊かな人間性と専門的知識及び実践に培う基礎的能力を身につけた、明日の教育を担う人材を育成します。

このため、附属学校園との一体化はもとより、教育委員会や諸学校との連携を深め、地域や家庭との協力のもと実践的な知の体系としての「臨床の知」の理念を核にした教育をめざします。

教育目標

教員養成の伝統と実績を踏まえ、「臨床の知」の理念のもとに、高度な専門知識と実践的な教育技術を身につけ、豊かな教養と創造性に溢れた教育者を育成します。

求める学生像

信州大学教育学部は、学部の基本理念や教育目標に基づき、次のような力を備えた学生を求めています。

- (1) 明日の教育を担う専門的知識や教養を身につけるために十分な基礎的学力
- (2) 豊かな人間性や実践的指導力を養うために不可欠なコミュニケーション能力
- (3) 教育者として社会の発展に寄与しようとする強い意志と教育への強い関心
- (4) 他者との協調性と他者への思いやりの心

大学入学時まで身に付けておくべき教科・科目等の内容

特に義務教育機関の教員は、各教科に対する得手、不得手を超えて、各教科にわたる広い教養と学力を身につけていることが求められています。このため、教育学部では、高等学校において、教科の学習を通して、次のような学力を身につけておくことを望みます。

教 科	身につけておくべき内容
国 語	国語を的確に理解し、国語で効果的に伝え合うための思考力・判断力・表現力 また、現代文、古文、漢文における確かな知識・理解
地理歴史 公 民	各科目における基礎的な知識及び多面的・多角的な見方や考え方
数 学	基礎的な知識と技能、及び基本的な数学的思考方法 特に数学及び理科の教員免許取得希望者については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の個々の項目の内容の理解
理 科	各科目における基礎的な知識 特に理科の教員免許取得希望者については、「物理Ⅰ及びⅡ」、「化学Ⅰ及びⅡ」、「生物Ⅰ及びⅡ」、「地学Ⅰ及びⅡ」から2科目以上の修得・個々の項目の内容の理解
外 国 語	目的に応じて情報や考えなどを正確に理解したり表現したりする英語によるコミュニケーション能力
情 報	情報処理における基礎的な知識と技能
家 庭	家庭生活全般に関する基礎的な知識と技能
音 楽	基礎的な音楽的表現力 特に音楽の教員免許取得希望者については、読譜力及び聴音能力
美 術	基礎的な造形能力及び想像力、構想力、創造力、鑑賞力
保健体育	体育やスポーツに対する意欲、基本的な運動能力 特に保健体育の教員免許取得希望者・スポーツ指導者を目指す学生においては、多様なスポーツを経験するための運動技能と基礎的体力

〈前期日程〉

1 募集人員

課程・コース		募集人員
学養 校成 教育課 教員程	現代教育コース	20人
	国語教育コース	12人
	英語教育コース	7人
	社会科教育コース	16人
	数学教育コース	18人
	理科教育コース	15人
	音楽教育コース	8人
	図画工作・美術教育コース	9人
	保健体育コース	9人
	ものづくり・技術教育コース	8人
	家庭科教育コース	10人
小計	132人	
特別支援学校教員養成課程		10人
生 涯ツ ス課 ボ程	地域スポーツコース	7人
	野外教育コース	3人
	小計	10人
教育カウンセリング課程		13人
計		165人

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等
国語		「国語」	左欄の科目
地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、第1 解答科目を利用します。)
公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
数学	①	「数学I・数学A」	左欄の科目
	②	「数学II」, 「数学II・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
理科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理I」, 「化学I」, 「生物I」, 「地学I」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、第1 解答科目を利用します。)
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

3 個別学力検査等の試験科目

志望する課程・コースごとに出題教科・科目等（以下「試験科目」という）が指定されます。各課程・コースの指定する試験科目は、次に示すとおりです。志望する課程・コースと受験する試験科目は出願時に決めてください。その後の変更は認めません。ただし、「地理歴史、公民」については、試験当日に受験する試験科目を選択してください。

課程・コース	試験科目
学校教育教員養成課程	現代教育コース 「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・現代文・古典）」 又は 「英語」 又は 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」 又は 「物理（物理Ⅰ・物理Ⅱ）」、 「化学（化学Ⅰ・化学Ⅱ）」、 「生物（生物Ⅰ・生物Ⅱ）」、 「地学（地学Ⅰ・地学Ⅱ）」 } から2科目選択
	国語教育コース 「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・現代文・古典）」
	英語教育コース 「英語」
	社会科教育コース 「地理歴史（世界史B）」、 「地理歴史（日本史B）」、 「地理歴史（地理B）」、 「公民（現代社会）」、 「公民（倫理）」、 「公民（政治・経済）」 } から1科目又は2科目選択 ※ 「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・現代文・古典）」、 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」、 「英語」 } から1科目選択
	数学教育コース 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」
	理科教育コース 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」 又は 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）」、 「物理（物理Ⅰ・物理Ⅱ）」、 「化学（化学Ⅰ・化学Ⅱ）」、 「生物（生物Ⅰ・生物Ⅱ）」、 「地学（地学Ⅰ・地学Ⅱ）」 } から2科目選択 （「数学1科目と理科1科目」、 「理科2科目」のいずれかを選択）
	音楽教育コース 「実技検査（音楽）」
	図画工作・美術教育コース 「実技検査（美術）」 } から1科目選択 「小論文」
	保健体育コース 「実技検査（運動）」
	ものづくり・技術教育コース 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」 又は 「英語」 又は 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）」、 「物理（物理Ⅰ・物理Ⅱ）」、 「化学（化学Ⅰ・化学Ⅱ）」、 「生物（生物Ⅰ・生物Ⅱ）」、 「地学（地学Ⅰ・地学Ⅱ）」 } から2科目選択 （「数学1科目と理科1科目」、 「理科2科目」のいずれかを選択）
家庭科教育コース 「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・現代文・古典）」 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」 「英語」 } から1科目選択	
特別支援学校教員養成課程 「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・現代文・古典）」 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」 「英語」 } から1科目選択	

生涯 スポーツ 課程	地域スポーツコース	「実技検査（運動）」
	野外教育コース	「実技検査（運動）」
教育カウンセリング課程	「国語（国語総合・国語表現Ⅰ・国語表現Ⅱ・現代文・古典）」 「数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）」 「英語」	

} から1科目選択

※ 「地理歴史，公民」は，各科目2題出題の合計12題から2題を選択解答することとします。

注1 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を，数学Cは「行列とその応用」及び「式と曲線」を範囲とします。

注2 英語は「オーラル・コミュニケーションⅠ」及び「英語Ⅰ」に加えて，「オーラル・コミュニケーションⅡ」と「英語Ⅱ」に共通する事項を含むものとします。ただし，リスニングテストは課しません。

注3 物理Ⅱは「物質と原子」及び「原子と原子核」の範囲を除きます。

注4 化学Ⅱは「生活と物質」及び「生命と物質」の範囲を除きます。

注5 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」について出題する場合は，いずれか一方を選択解答することとします。

注6 地学Ⅱは，選択分野「地球の探究」，「地球表層の探究」及び「宇宙の探究」のうち「宇宙の探究」を出題範囲から除きます。「地球の探究」及び「地球表層の探究」について出題する場合は，いずれか一方を選択解答することとします。

4 個別学力検査等実施日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	時間帯	試験時間	試験科目
2月25日(火)	A	9:00~11:00	数学(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C)
			数学(Ⅰ・Ⅱ・A・B)，物理，化学，生物，地学
	B	13:00~14:30	国語
英語			
C	15:30~17:00	地理歴史，公民	
2月26日(水)	D	9:00~12:00	実技検査(美術)
		13:00~14:30	小論文
		10:00~17:30頃	実技検査(音楽) ※
			実技(聴音を含む。)
実技検査(運動) ※			

※ 実施方法等は当日指示します。

(2) 検査場

信州大学長野(教育)キャンパス 長野市西長野6のロ
(69ページからの「Ⅳ 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は，「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 第2志望について

- (1) 本学部「前期日程」では，次のとおり第2志望の課程・コースを選択することができます。
 - ① 受験する試験科目と同一の試験科目を指定している他の課程・コースがあれば，その中から一つだけを選んで第2志望の課程・コースとすることができます。
 又は，受験時間帯が重ならない限り他にもう1科目(ただし，現代教育コース，理科教育コース及びものづくり・技術教育コースの指定する試験科目は1科目又は2科目，社会科教育コースの指定する試験科目は2科目又は3科目)を受験して，その試験科目を指定している他の課程・コースから一つだけを選んで第2志望の課程・コースとすることもできます。
 - ② 第2志望の課程・コースがなければ，希望しなくてもかまいません。
- (2) 志望する課程・コースと受験する試験科目は，出願時に決めてください。その後の変更は認めません。ただし，「地理歴史，公民」については，試験当日に受験する試験科目を選択してください。

(3) 課程・コース別・試験時間帯別の試験科目一覧

課程・コース		期日		2月25日(火)			2月26日(水)					
		時間帯		A		B		C		D		
		試験時間		9:00~11:00		13:00~14:30		15:30~17:00		9:00~12:00	13:00~14:30	10:00~17:30頃
		試験科目		数学 (I・II・III・ A・B・C)	数学 (I・II・ A・B)	物理, 化学, 生物, 地学	国語	英語	地理歴史, 公民	実技検査 (美術)	小論文	実技検査 (音楽)
学校 教育 教員 養成 課程	現代教育コース	○		○	○	○						
	国語教育コース				○							
	英語教育コース					○						
	社会科教育コース	○			○	○	○					
	数学教育コース	○										
	理科教育コース	○	○	○								
	音楽教育コース									○		
	図画工作・美術 教育コース								○	○		
	保健体育コース										○	
	ものづくり・ 技術教育コース	○	○	○			○					
	家庭科教育コース	○				○	○					
特別支援学校教員養成課程		○			○	○						
生涯 学習 課程	地域スポーツコース										○	
	野外教育コース										○	
教育カウンセリング課程		○			○	○						

※ 第1志望と第2志望で同一の試験科目を選択する場合は、第1志望と第2志望の課程・コースでそれぞれ試験科目となっていることを確認してください。第1志望と第2志望で別の試験科目を選択する場合は、同一時間帯の試験科目を選択することはできません。(5(1)①を参照)。

6 実技検査の内容

音楽教育コース

(1) 受験方法

- ① 次の「(2)検査内容」に示された〔必須〕①, ②, ③の検査すべてを受験し、また、〔選択〕④, ⑤, ⑥のうちの一つを選択して受験してください。
- ② 受験曲は反復を省略し、暗譜で演奏してください。なお、声楽曲は原語で、オペラのアリアは原調(ただし、慣習的に移調が認められている場合を除く。)で歌ってください。
- ③ 声楽の伴奏用楽譜は、氏名を明記の上、各ページともA4判(30cm×21cm)で簡易製本(屏風形)し、出願書類と共に提出してください。提出後の楽譜の差し替えはできません。なお、提出された楽譜は返却しません。
- ④ 管・弦・打楽器は携帯可能な楽器とし、各自持参してください。

(2) 検査内容

〔必須〕

- ① 聴音：単旋律聴音を1課題(8~12小節)
- ② 声楽：次の歌曲の中から任意の1曲
 - a. Se tu m'ami G. B. Pergolesi 作曲
 - b. Wiegenlied(第2節まで) J. Brahms 作曲
 - c. かやの木山の 山田 耕筰 作曲, 北原 白秋 作詞
- ③ ピアノ：次のa又はbを選択してください。
 - a. J. S. Bach作曲「インヴェンション」, 「シンフォニア」, 「平均律クラヴィーア曲集I・II」(フーガのみは可, プレリユードのみは不可)の中から任意の1曲
 - b. ツェルニー作曲「40番練習曲集 op. 299」, 「50番練習曲集 op. 740」, ショパン作曲「練習曲集 op. 10, op. 25」の中から任意の1曲

〔選択〕

- ④ 声楽：イタリア歌曲, ドイツ歌曲, 日本歌曲, オペラ・アリアの中から任意の1曲
- ⑤ ピアノ：ハイドン, モーツァルト, ベートーヴェンのピアノ・ソナタの中から, 速度の速い任意の楽章
- ⑥ 管・弦・打楽器(和楽器を含む)：無伴奏のエチュード又は無伴奏の楽曲

- (3) 実技検査（音楽）受験曲目届
この募集要項に添付する届出様式1に必要事項を記入し、出願書類と共に提出してください。（黒色のペン又はボールペンを使用）

図画工作・美術教育コース

- (1) 検査内容
次の①, ②, ③のうちから一つを選択して受験してください。
① 石膏デッサン：鉛筆により石膏像をデッサンする。
② 色彩構成：ケントボードの枠内に与えられたテーマでポスターカラーにより色彩構成する。
③ 立体造形：粘土により立体表現する。
- (2) 持ち物
石膏デッサン：鉛筆, 消しゴム（練りゴム）
色彩構成：筆, パレット又は絵の具皿, 筆洗, 鉛筆
立体造形：鉛筆, 消しゴム
- (3) 実技検査（美術）受験種目届（出願書類と共に提出）
① この募集要項に添付する届出様式2を用いてください。（黒色のペン又はボールペンを使用）
② 前記「(1) 検査内容」で選択した1種目を記入してください。

保健体育コース・地域スポーツコース・野外教育コース

- (1) 検査内容
次のA群・B群から各1種（合計2種目）を選択して実技検査を受験してください。
A群＝1. 器械運動 2. 陸上競技 3. 剣道 4. ダンス
B群＝1. バスケットボール 2. サッカー 3. バレーボール 4. ソフトボール
- (2) 実技検査（運動）選択種目届（出願書類と共に提出）
① この募集要項に添付する届出様式3を用いてください。（黒色のペン又はボールペンを使用）
② 選択した種目は、変更できません。また、受験種目の内容についての問い合わせには一切応じられません。
- (3) その他
① 実技検査に使用する運動用具に関する注意事項
a. すべての受験者は、トレーニングウェア及び室内用と室外用の両方のシューズを持参してください。
b. 選択した種目を受験するのに必要な運動の服装, 用具, シューズ等を持参してください。
・剣道の受験者は、剣道着, 防具, 竹刀を持参してください。
・ソフトボールの受験者は、グローブを持参してください。
- ② 事前に健康診断を受けるなど健康管理に留意してください。また、万一の事故に備え、保険証を持参してください。

7 採点・評価基準

大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して行います。

8 大学入試センター試験，個別学力検査等の配点及び合否判定基準

課程・コース		大学入試センター試験						個別学力検査等								合計		
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語 ※1	小計	国語	地歴・ 公民	数学 (I・II・III A・B・C)	数学 (I・II・ A・B)	理科 ※2	英語	実技		小論文	小計
学校教育教員養成課程	現代教育コース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	(300)	/	(300)	/	(300)	(300)	/	/	300	1,100
	国語教育コース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	300	/	/	/	/	/	/	/	300	1,100
	英語教育コース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	/	/	/	/	/	300	/	/	300	1,100
	社会科教育コース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	(150)	150	(150)	/	/	(150)	/	/	300	1,100
	数学教育コース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	/	/	300	/	/	/	/	/	300	1,100
	理科教育コース	200	(50)	(50)	200	150	200	800	/	/	(300)	(150)	(150) (300)	/	/	/	300	1,100 ※3
	音楽教育コース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	/	/	/	/	/	/	300	/	300	1,100
	図画工作・美術教育コース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	/	/	/	/	/	/	(300)	(300)	300	1,100
	保健体育コース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	/	/	/	/	/	/	300	/	300	1,100
	ものづくり・技術教育コース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	/	/	(300)	(150)	(150) (300)	(300)	/	/	300	1,100 ※3
	家庭科教育コース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	(300)	/	(300)	/	/	(300)	/	/	300	1,100
特別支援学校 教員養成課程	200	(100)	(100)	200	100	200	800	(300)	/	(300)	/	/	(300)	/	/	300	1,100	
生涯 スポーツ 課程	地域スポーツコース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	/	/	/	/	/	/	300	/	300	1,100
	野外教育コース	200	(100)	(100)	200	100	200	800	/	/	/	/	/	/	300	/	300	1,100
教育カウンセリング課程	200	(100)	(100)	200	100	200	800	(300)	/	(300)	/	/	(300)	/	/	300	1,100	

※1 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

※2 個別学力検査の理科は、現代教育コースにおいては「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目から2科目を、理科教育コース及びものづくり・技術教育コースにおいては「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4科目から1科目又は2科目を選択し、1科目150点です。

※3 理科教育コース及びものづくり・技術教育コースの個別学力検査等の配点欄中、上段は1科目を選択する場合の配点を、下段は2科目を選択する場合の配点を表します。

注1 配点に()の付してある教科等は、選択教科等を表します。

注2 配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

9 その他

出願については5～9ページ，合格者の発表については10ページ，入学手続については10～11ページ，追加合格については11～12ページを参照してください。

〈後期日程〉

1 募集人員

課程・コース		募集人員
学校教育教員養成課程	現代教育コース	4人
	国語教育コース	3人
	英語教育コース	3人
	社会科教育コース	3人
	数学教育コース	3人
	理科教育コース	5人
	音楽教育コース	3人
	図画工作・美術教育コース	2人
	保健体育コース	3人
	ものづくり・技術教育コース	4人
	家庭科教育コース	3人
小計	36人	
特別支援学校教員養成課程	5人	
生涯学習コース	地域スポーツコース	3人
	野外教育コース	2人
	小計	5人
教育カウンセリング課程	2人	
計	48人	

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

- ・現代教育コース ・社会科教育コース ・ものづくり・技術教育コース
- ・家庭科教育コース ・特別支援学校教員養成課程 ・教育カウンセリング課程

教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等
国語		「国語」	左欄の科目
地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)
公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
数学	①	「数学I・数学A」	左欄の科目
	②	「数学II」, 「数学II・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
理科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理I」, 「化学I」, 「生物I」, 「地学I」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

・国語教育コース ・英語教育コース

教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等
国語		「国語」	左欄の科目
地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)
公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

注 「英語」はリスニングを課します。

・数学教育コース ・理科教育コース

教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等
国語		「国語」	左欄の科目
地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)
公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
数学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左欄の科目
	②	「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
理科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から2科目
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

・音楽教育コース ・保健体育コース ・地域スポーツコース ・野外教育コース

教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等
国語		「国語」	左欄の科目
地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」,	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)
公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
数学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左欄の科目
	②	「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
理科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

※ 「数学」を選択する場合は、2科目を受験してください。

・図画工作・美術教育コース

教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等	
国語		「国語」	左欄の科目	
地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します。)	3教科(『「地理歴史」又は「公民」, 「数学」, 「理科」)から2教科 (3教科受験した場合は、高得点の2教科を利用します。)※
公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
数学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左欄の科目	
	②	「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目	
理科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します。)	
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目	

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

※ 「数学」を選択する場合は、2科目を受験してください。

3 個別学力検査等の試験科目

志望する課程・コースごとに出題教科・科目等(以下「試験科目」という。)が指定されます。各課程・コースの指定する試験科目は、次に示すとおりです。

課程・コース		試験科目
学校教育教員養成課程	現代教育コース	「面接」
	国語教育コース	「面接」
	英語教育コース	「面接」
	社会科教育コース	「面接」
	数学教育コース	「面接」※教科に関する質問を含みます。
	理科教育コース	「面接」※教科に関する質問を含みます。
	音楽教育コース	「実技検査(音楽)」
	図画工作・美術教育コース	「面接」※面接の参考とするための簡単な素描を含みます。
	保健体育コース	「実技検査(運動)」
	ものづくり・技術教育コース	「面接」※教科に関する質問を含みます。
	家庭科教育コース	「面接」
特別支援学校教員養成課程		「面接」
生涯スポーツ課程	地域スポーツコース	「実技検査(運動)」
	野外教育コース	「実技検査(運動)」
教育カウンセリング課程		「面接」

注 面接は課程・コースごとに実施し、個別又は集団で行います。

4 個別学力検査等実施日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期日	試験時間	試験科目
3月12日(水)	10:00~17:30頃	実技検査(音楽)※
	9:00~17:30頃	実技検査(運動)※
	13:00~17:30頃	面接 ※

※ 実施方法等は当日指示します。

(2) 検査場

信州大学長野（教育）キャンパス 長野市西長野6のロ

(69ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 実技検査の内容**音楽教育コース****(1) 受験方法**

- ① 次の「(2) 検査内容」に示された①, ②の検査すべてを受験してください。
- ② 受験曲は反復を省略し、暗譜で演奏してください。なお、声楽曲は原語で歌ってください。
- ③ 声楽の伴奏用楽譜は、氏名を明記の上、各ページともA4判(30cm×21cm)で簡易製本(屏風形)し、出願書類と共に提出してください。提出後の楽譜の差し替えはできません。なお、提出された楽譜は返却しません。

(2) 検査内容

- ① 声楽：自由曲1曲。ただし、オペラのアリアは原調(慣習的に移調が認められている場合を除く。)で歌ってください。
- ② ピアノ：バロック、古典派、ロマン派のピアノ作品の中から、速度の速い任意の1曲(組曲形式の楽曲については抜粋も可とします。)

(3) 実技検査(音楽)受験曲目届

この募集要項に添付する届出様式4に必要な事項を記入し、出願書類と共に提出してください。(黒色のペン又はボールペンを使用)

保健体育コース・地域スポーツコース・野外教育コース**(1) 検査内容**

次の①, ②の実技検査を受験してください。

- ① 運動能力検査(内容は当日指示)
- ② 次の9種目から1種目を選択
 1. 器械運動 2. 陸上競技 3. バasketボール 4. サッカー 5. バレーボール
 6. ソフトボール 7. 剣道 8. ダンス 9. キャンピング・スキル

(2) 実技検査(運動)受験種目届(出願書類と共に提出)

- ① この募集要項に添付する届出様式5を用いてください。(黒色のペン又はボールペンを使用)
- ② 前記「(1) 検査内容②」で選択した1種目を記入してください。なお、選択した種目は、変更できません。また、受験種目の内容についての問い合わせには一切応じられません。

(3) その他

- ① 実技検査に使用する運動用具に関する注意事項
 - a. すべての受験者は、トレーニングウェア及び室内用と室外用のシューズを持参してください。
 - b. 選択した種目を受験するのに必要な運動の服装、用具、シューズ等を持参してください。
 - ・陸上競技の受験者は、スパイクシューズを持参してください。ただし、ピンはオールウェザー用で、ピンの長さは9mm以下としてください。
 - ・ソフトボールの受験者は、グローブを持参してください。
 - ・剣道の受験者は、剣道着、防具、竹刀を持参してください。
- ② 陸上競技は、短距離走・中距離走・砲丸投のなかからいずれかを試験当日選択してください。
- ③ 事前に健康診断を受けるなど健康管理に留意してください。また、万一の事故に備え、保険証を持参してください。

6 採点・評価基準

大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して行います。

7 大学入試センター試験，個別学力検査等の配点及び合否判定基準

課 程 ・ コース		大学入試センター試験							個別学力検査等			合計
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語 ※	小計	実技	面接	小計	
学校 教育 教員 養成 課程	現代教育コース	150	(100)	(100)	150	100	150	650		250	250	900
	国語教育コース	300	(100)	(100)			200	600		300	300	900
	英語教育コース	300	(150)	(150)			300	750		150	150	900
	社会科教育コース	150	(150)	(150)	100	50	150	600		300	300	900
	数学教育コース	120	(70)	(70)	170	120	120	600		300	300	900
	理科教育コース	50	(50)	(50)	200	200	100	600		300	300	900
	音楽教育コース	200	(200)	(200)	(200)	(200)	200	600	300		300	900
	図画工作・美術 教育コース	200	(100)	(100)	(100)	(100)	200	600		300	300	900
	保健体育コース	200	(200)	(200)	(200)	(200)	200	600	300		300	900
	ものづくり・技術 教育コース	120	(80)	(80)	160	120	120	600		300	300	900
家庭科教育コース	150	(75)	(75)	150	75	150	600		300	300	900	
特別支援学校教員養成課程		150	(100)	(100)	150	100	150	650		250	250	900
生 涯 ス ポ ー ツ 課 程	地域スポーツコース	200	(200)	(200)	(200)	(200)	200	600	300		300	900
	野 外 教 育 コース	200	(200)	(200)	(200)	(200)	200	600	300		300	900
教育カウンセリング課程		150	(75)	(75)	150	75	150	600		300	300	900

※ 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については，筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し，「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし，重度難聴者でリスニングを免除された方については，筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

注1 配点に（ ）の付してある教科等は，選択教科等を表します。

注2 配点に従い，総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

8 その他

出願については5～9ページ，合格者の発表については10ページ，入学手続については10～11ページ，追加合格については11～12ページを参照してください。

3 経済学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/economics/>)

本学部では、前期日程と後期日程の2回に分けて選抜を行います。受験科目や配点は、経済学科と経済システム法学科で共通です。

前期日程では、大学入試センター試験の結果と、個別学力検査（国語、数学、外国語から1教科を選択）の結果及び調査書の内容等を総合して合否を決定します。

後期日程では、大学入試センター試験の結果及び調査書の内容等を総合して合否を決定します。なお、後期日程では個別学力検査は行いません。

〈アドミッション・ポリシー〉

理念

信州大学経済学部は、「大学から社会へ、社会から大学へ」をキーコンセプトにした研究教育を実践しています。このコンセプトの下、社会・地域・海外とのネットワークを形成し、現代日本の経済・社会の解明を焦点とする専門研究と教育を実践しています。また、異分野との協力体制を積極的に推進することで、現代社会が抱える先端的課題に、積極的かつ主体的に取り組んでいます。

教育目標

(1) 信州大学経済学部は、社会諸科学の専門教育を踏まえ、激変する現代社会環境の中で、時代に流されず、主体的にその変化に対応出来る能力を持った個人、とりわけビジネスリーダー等、経済社会の構造変化を見据えた問題発見・解決型の実践的な企業人・組織人の育成を目指します。

そのために、以下の内容の教育を行います。

- 1) 情報収集・発信リテラシー、コミュニケーション能力を基盤とする基礎的職業能力の育成
 - 2) 企業人・社会人として必要な実践的能力の育成
 - 3) 時代を観る目の涵養
 - 4) 職業的倫理観と市民的公共観の涵養
- (2) 信州大学経済学部は、企業人講師等による講義、ビジネス・インターンシップ、ボランティア実習等、様々な「大学から社会へ、社会から大学へ」をキーコンセプトとした教育実践を更に発展させます。
- (3) 信州大学経済学部は、自発的自立的学習を支援し、少人数教育を中心とする相互交流型の教育を実践します。
- (4) 信州大学経済学部は、既に仕事を持つ社会人に対して、自らの職業能力の高度化を図るためのインタラクティブな教育研究支援を行い、高度職業人を養成します。
- (5) 信州大学経済学部は、高度専門教育と教育実践から得られた成果を広く地域・社会に還元すべく、生涯教育に対する教育体制を強化します。

求める学生像

信州大学経済学部は、学部の基本理念・教育目標に基づき、次のような意欲を持った学生諸君を求めています。

- (1) 経済と社会のあり方や、それが直面する諸問題に幅広い関心を抱き、ものごとの本質をとらえようとする意欲をもつ人
- (2) たゆまぬ探究心をもって知性を磨き、かたよらない視点から問題解決をめざす意欲をもつ人
- (3) 自分の考えを練り上げ、明晰な表現を通じ説得する能力を身につけようとする意欲をもつ人
- (4) 他者への思いやりと社会における公正を大切に、自立した社会人として職業を通じ社会に貢献しようとする強い意志をもつ人

大学入学までに身につけておくべき教科・科目

資料を読み解き、考えを表現するとともに他者との円滑なコミュニケーションを図るために、一定の読書量を通して国語の能力を十分身につけておくことが必要です。

同様な意味で、国内にとどまらない活動のために、英語の能力も必要とされます。

数学は、社会科学の諸現象の数理的解析のために必要です。また、法学も含めた論理的思考の基礎ともなる科目ですので、基本的な内容とその応用力を身につけてください。

また、新聞・ニュース報道等を通じて、経済学部が対象としている社会の諸問題に関心を持つとともに、これらを探究するための基礎としての科目、例えば地理歴史・公民なども学んで入学することを希望します。

〈前期日程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
経 済 学 科	85人
経済システム法学科	40人
計	125人

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

[経済学科及び経済システム法学科]

教 科	グループ	出 題 科 目	受験を要する科目等
国 語		「国語」	左欄の科目
地理歴史		「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」	左欄から2科目 (3科目以上受験した場合は、『「地理歴史, 公民」の第1解答科目と「理科」の第1解答科目』, 『「地理歴史, 公民」の2科目』及び『「理科」の2科目』の3つの組合せのうち、最も高得点となる組合せを利用します。)
公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
理 科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理I」, 「化学I」, 「生物I」, 「地学I」	
数 学	①	「数学I・数学A」	左欄の科目
	②	「数学II」, 「数学II・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2 「公民」においては、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

注3 「英語」はリスニングを課します。

3 個別学力検査の実施教科・科目等

[経済学科及び経済システム法学科]

教 科	出 題 科 目	受験を要する教科
国 語	「現代文」	左欄から1教科
数 学	「数学I」, 「数学II」, 「数学A」, 「数学B」	
外国語	「英語I」, 「英語II」, 「リーディング」, 「ライティング」	

注 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を除きます。

4 個別学力検査の実施日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教 科	時 間
2月25日(火)	全学科	数 学	9 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0
		国 語	1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0
		外国語	

(2) 検 査 場

受験者は、あらかじめ届け出た検査場で受験しなければなりません。届け出た検査場の変更は認めません。

〈松本検査場〉 信州大学松本キャンパス	松本市旭3-1-1
〈東京検査場〉 國學院大學渋谷キャンパス	東京都渋谷区東4-10-28
〈大阪検査場〉 大阪医科大学本部キャンパス	大阪府高槻市大学町2番7号

受験する検査場は受験票に明示し、その詳細については、受験票に同封して通知します。
(69ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 採点・評価基準

合格者の選抜は、経済学科、経済システム法学科ともに、指定された科目の大学入試センター試験と個別学力検査の成績及び調査書の内容等を総合して行います。ただし、個別学力検査を受験した方のうち、大学入試センター試験の合計点が上位10人の方は、両学科とも優先的に合格とします。

6 大学入試センター試験、個別学力検査等の配点及び合否判定基準

[経済学科及び経済システム法学科]

種別	大学入試センター試験							個別学力検査等				合計
	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	小計	国語	数学	外国語	小計	
配点	200	(100) 又は (200)	(100) 又は (200)	(100) 又は (200)	200	※2 200	800	(200)	(200)	(200)	200	1,000
		※1 200 (2科目選択)						※3 200 (1教科選択)				

注1 配点に()を付してある教科は、選択教科を表します。

注2 配点に従い、総合点の上位から判定します。

※1 「地理歴史」、「公民」及び「理科」から3科目以上を受験した方については、『「地理歴史、公民」の第1解答科目と「理科」の第1解答科目』、『「地理歴史、公民」の2科目』及び『「理科」の2科目』の3つの組合せのうち、最も高得点となる組合せの成績を利用します。

※2 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

※3 選択教科による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。

7 その他

(1) 出願については5~9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10

～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。

- (2) 本学部では、教育職員免許状を取得することはできません。
- (3) 本学部では学生全員にノートパソコンの所持を義務づけていますので、入学される方には、入学時に本学部が指定する性能を満たすノートパソコンを準備していただきます。ノートパソコンの仕様、共同購入等については、合格通知書の送付の際にご案内します。
- なお、既にノートパソコンをお持ちの方については、必要な仕様の整備を各自行っていくことになると思います。

〈後期日程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
経 済 学 科	15人
経済システム法学科	10人
計	25人

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

[経済学科及び経済システム法学科]

教 科	グループ	出 題 科 目	受験を要する科目等
国 語		「国語」	左欄の科目
地理歴史		「世界史 B」, 「日本史 B」, 「地理 B」	左欄から1科目
公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	(2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)
数 学	①	「数学 I・数学 A」	左欄の科目
	②	「数学 II」, 「数学 II・数学 B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
理 科		「理科総合 A」, 「理科総合 B」, 「物理 I」, 「化学 I」, 「生物 I」, 「地学 I」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

注2 「公民」においては、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

注3 「英語」はリスニングを課します。

3 個別学力検査等の実施教科・科目等

個別学力検査等はいりません。

大学入試センター試験の成績及び調査書の内容等を総合して選抜します。

4 大学入試センター試験の配点及び合否判定基準

[経済学科及び経済システム法学科]

種別	大学入試センター試験						合計
	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	
※1 配点	200	※2 150		100	※3 50	※4 300	800
	100	※2 50		300	※3 150	※4 200	800

注 配点に従い、総合点の上位から判定します。

※1 上段下段に記されている二つの算定方式により総合点を求め、いずれか高い総合点を大学入試センター試験の総合点として用います。

※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

※3 「理科」を2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

※4 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を、300点満点(上段)又は200点満点(下段)に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま(下段)又は300点満点に換算して(上段)利用します。

5 その他

- (1) 出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。
- (2) 本学部では、教育職員免許状を取得することはできません。
- (3) 本学部では学生全員にノートパソコンの所持を義務づけていますので、入学される方には、入学時に本学部が指定する性能を満たすノートパソコンを準備していただきます。ノートパソコンの仕様、共同購入等については、合格通知書の送付の際にご案内します。

なお、既にノートパソコンをお持ちの方については、必要な仕様の整備を各自行っていただくこととなります。

4 理 学 部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/>)

〈アドミッション・ポリシー〉

理 念

理学部は知的好奇心探求の場です。

その基本理念は、自然界の多種多様な現象を詳細に検討し、その中に存在する法則性を探求することにあります。

信州大学理学部では、この理学の基本理念と信州大学の理念に基づいて、

- ・ 信州の豊かな自然、その歴史と文化、人々の営みを大切にします。
- ・ 知的資産と活動を通じて、自然環境の保全、人々の福祉向上、産業の育成に役立てます。
- ・ 世界の多様な自然、文化、思想を理解し、受け入れ、共に生きる若者を育てます。
- ・ 個性を大切にすると共に、専門分野を越えた広い視野と、柔軟な適応性を養います。
- ・ 研究の成果を人々の幸福に役立て、自然の尊厳を傷つけるために使うことのないよう責任を持ちます。

教育目標

自然界の多種多様な現象に常に知的好奇心と探究心を抱く人材を育てます。

それぞれの専門分野についての深い知識を有するとともに、専門分野を越えた課題にも柔軟に対処できる、広い視野と適応性を兼ね備えた、社会に役立つ人材を育てます。

信州の優れた自然を体験的に教材として利用し、自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる後継者の育成に努めます。

求める学生像

- ・ 自らの目標を定め、積極的に学ぼうと努力する人
- ・ 自然を愛し、自然との共生を実践しようとする人
- ・ 自然界の多種多様な現象に対する知的好奇心や探究心が旺盛な人
- ・ 専門分野を越えた広くかつ長期的な視野で、人類社会に貢献したいと考える人
- ・ 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民で学習したことを身に付けている人

学 科	十分な学習が望まれる教科・科目等
数理・自然情報科学科	数学（Ⅲ，Cまで）
物 理 科 学 科	物理，数学（Ⅲ，Cまで）
化 学 科	化学，物理，数学（Ⅲ，Cまで）
地 質 科 学 科	理科（物理，化学，生物，地学など）から2科目以上
生 物 科 学 科	生物
物 質 循 環 学 科	理科（物理，化学，生物，地学）から2科目以上

〈前 期 日 程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
数理・自然情報科学科	25人
物 理 科 学 科	20人
化 学 科	15人
地 質 科 学 科	10人
生 物 科 学 科	15人
物 質 循 環 学 科	10人
計	95人

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

学科	教科	グループ	出 題 科 目	受験を要する科目等	
数 理 ・ 自 然 情 報 科 学 科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目	
	地 理 歴 史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左 欄 から 1 科 目 (2 科 目 受 験 し た 場 合 は, 第 1 解 答 科 目 を 利 用 し ま す。)	
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学	①		「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②		「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左 欄 から 1 科 目
	理 科			「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左 欄 から 2 科 目 (「理科総合A」と「理科総 合B」を組み合わせて選択す ることはできません。)
外 国 語			「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左 欄 から 1 科 目	
物 理 科 学 科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目	
	地 理 歴 史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左 欄 から 1 科 目 (2 科 目 受 験 し た 場 合 は, 第 1 解 答 科 目 を 利 用 し ま す。)	
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学	①		「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②		「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左 欄 から 1 科 目
	理 科			「物理Ⅰ」	左 欄 の 科 目
			「理科総合A」, 「理科総合B」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左 欄 から 1 科 目	
外 国 語			「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左 欄 から 1 科 目	
化 学 科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目	
	地 理 歴 史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左 欄 から 1 科 目 (2 科 目 受 験 し た 場 合 は, 第 1 解 答 科 目 を 利 用 し ま す。)	
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学	①		「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②		「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左 欄 から 1 科 目
	理 科			「化学Ⅰ」	左 欄 の 科 目
			「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左 欄 から 1 科 目	
外 国 語			「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左 欄 から 1 科 目	
地 質 科 学 科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目	
	地 理 歴 史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左 欄 から 1 科 目 (2 科 目 受 験 し た 場 合 は, 第 1 解 答 科 目 を 利 用 し ま す。)	
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学	①		「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②		「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左 欄 から 1 科 目
	理 科			「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左 欄 から 2 科 目
外 国 語			「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左 欄 から 1 科 目	

学科	教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等
生物科学科	国語		「国語」	左欄の科目
	数学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左欄の科目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理科		「生物Ⅰ」	左欄の科目
			「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から1科目
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目	
物質循環学科	国語		「国語」	左欄の科目
	地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します。)
	公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
	数学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左欄の科目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から2科目 (「理科総合A」と「理科総合B」を組み合わせて選択することはできません。)
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目	

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）の方に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

3 個別学力検査等の実施教科・科目等

学 科	受 験 教 科 ・ 科 目 等
数理・自然情報科学科	数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C） 注：数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を、数学Cは「確率分布」及び「統計処理」を除き出題します。
物理科学科	理科（物理Ⅰ・物理Ⅱ） 注：高等学校学習指導要領に記載されている「物理Ⅱ」の内容のうち、選択分野「物質と原子」及び「原子と原子核」を除き出題します。
化 学 科	理科（化学Ⅰ・化学Ⅱ） 注：化学Ⅱの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。
地質科学科	面接（物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ又は地学Ⅰから1科目を選択し、選択した科目の範囲を含む口頭試験）
生物科学科	面接（生物Ⅰ・生物Ⅱの範囲を含む口頭試験） 注：面接は、生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」についても出題範囲に含めます。
物質循環学科	小論文

4 個別学力検査等の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教 科 等	時 間
2月25日 (火)	数理・自然情報科学科	数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・ 数学B・数学C)	9:30～12:30
	物 理 学 科	理科(物理Ⅰ・物理Ⅱ)	13:00～15:00
	化 学 科	理科(化学Ⅰ・化学Ⅱ)	13:00～14:30
	地 質 学 科	面接(物理Ⅰ, 化学Ⅰ, 生物Ⅰ又は地学 Ⅰから1科目を選択し, 選択した 科目の範囲を含む口頭試験)	9:30～16:30
	生 物 学 科	面接(生物Ⅰ・生物Ⅱの範囲を含む口頭 試験)	9:30～16:30
	物質循環学科	小論文	9:30～12:30

(2) 検 査 場

信州大学松本キャンパス 松本市旭3-1-1

(69 ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 採点・評価基準

大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して行います。

6 大学入試センター試験、個別学力検査等の配点及び合否判定基準

種 別 教 科 学 科	大学入試センター試験							個別学力検査等					合計
	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	小計	数学	理科	面接	小論文	小計	
数理・自然情報科学科	200	(100)	(100)	200	200	200	900	600	/	/	/	600	1,500
物 理 学 科	200	(100)	(100)	200	200	200	900	/	400	/	/	400	1,300
化 学 科	200	(100)	(100)	200	200	300	1,000	/	400	/	/	400	1,400
地 質 学 科	200	(100)	(100)	200	200	200	900	/	/	300	/	300	1,200
生 物 学 科	20	/		80	200	100	400	/	/	※100	/	100	500
物質循環学科	200	(100)	(100)	200	200	200	900	/	/	/	900	900	1,800

注1 配点に()の付してある教科は、選択教科を表します。

注2 大学入試センター試験で「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。

注3 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

注4 配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

※ 生物科学科の面接は、段階評価を行い得点に換算します。

7 その他

出願については5～9ページ，合格者の発表については10ページ，入学手続については10～11ページ，追加合格については11～12ページを参照してください。

〈後 期 日 程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
数理・自然情報科学科	27人
物理科学科	10人
化 学 科	15人
地 質 科 学 科	15人
生 物 科 学 科	15人
物 質 循 環 学 科	10人
計	92人

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

学科	教 科	グループ	出 題 科 目	受験を要する科目等	
数理・自然情報科学科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目	
	地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)	
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学	①		「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②		「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科			「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から2科目 (「理科総合A」と「理科総合B」を組み合わせて選択することはできません。)
外国語			「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目	
物理科学科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目	
	地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)	
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学	①		「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②		「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科			「物理Ⅰ」	左 欄 の 科 目
			「理科総合A」, 「理科総合B」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から1科目	
外国語			「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目	

学科	教科	グループ	出 題 科 目	受験を要する科目等
化 学 科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目
	地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、第 1解答科目を利用します。)
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
	数 学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科		「化学Ⅰ」	左 欄 の 科 目
		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から1科目	
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目	
地 質 科 学 科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目
	地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、第 1解答科目を利用します。)
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
	数 学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から2科目
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目	
生 物 科 学 科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目
	地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、第 1解答科目を利用します。)
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
	数 学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科		「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から2科目
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目	
物 質 循 環 学 科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目
	地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、第 1解答科目を利用します。)
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
	数 学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から2科目 (「理科総合A」と「理科総合 B」を組み合わせることは できません。)
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目	

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

3 個別学力検査の実施教科・科目等

学 科	受 験 教 科 ・ 科 目 等
数理・自然情報科学科	数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B） 数学（数学Ⅲ・数学C） 理科（「物理Ⅰ・物理Ⅱ」，「化学Ⅰ・化学Ⅱ」，「生物Ⅰ・生物Ⅱ」， 「地学Ⅰ・地学Ⅱ」から一つ選択）
物 理 科 学 科	個別学力検査等はありません。
化 学 科	小論文
地 質 科 学 科	数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B） 数学（数学Ⅲ・数学C） 理科（理科総合B，「物理Ⅰ・物理Ⅱ」，「化学Ⅰ・化学Ⅱ」， 「生物Ⅰ・生物Ⅱ」，「地学Ⅰ・地学Ⅱ」） } から二つ選択
生 物 科 学 科 物 質 循 環 学 科	数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B） 理科（「物理Ⅰ・物理Ⅱ」，「化学Ⅰ・化学Ⅱ」，「生物Ⅰ・生物Ⅱ」， 「地学Ⅰ・地学Ⅱ」から二つ選択）

注1 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を，数学Cは「確率分布」及び「統計処理」を除き出題します。

注2 高等学校指導要領に記載されている「物理Ⅱ」の内容のうち，選択分野「物質と原子」，及び「原子と原子核」を除き出題します。

注3 化学Ⅱの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」について出題する場合は，いずれか一方を選択解答することとします。

注4 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」について出題する場合は，いずれか一方を選択解答することとします。

注5 地学Ⅱは，選択分野「地球の探究」，「地球表層の探究」及び「宇宙の探究」のうち「宇宙の探究」を出題範囲から除きます。「地球の探究」及び「地球表層の探究」について出題する場合は，いずれか一方を選択解答することとします。

4 個別学力検査の日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教 科 等	時 間
3月12日 (水)	化 学 科	小論文	9:30～12:00
	数理・自然情報科学科	数学（数学Ⅲ・数学C）	9:30～12:00
	地 質 科 学 科	理科（「理科総合B」，「物理Ⅰ・物理Ⅱ」， 「化学Ⅰ・化学Ⅱ」，「生物Ⅰ・生物Ⅱ」， 「地学Ⅰ・地学Ⅱ」）	
	生 物 科 学 科		
	物 質 循 環 学 科	数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）	14:00～16:00

(2) 検 査 場

信州大学松本キャンパス 松本市旭3-1-1

(69 ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は，「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 採点・評価基準

数理・自然情報科学科，化学科，地質科学科，生物科学科及び物質循環学科は，大学入試センター試験の成績，個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して行います。

物理科学科は，大学入試センター試験の成績及び調査書の内容を総合して行います。

6 大学入試センター試験、個別学力検査の配点及び合否判定基準

種 別 教 科 学 科	大学入試センター試験							個別学力検査					合計
	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	小計	数学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ 数学A・数学B)	数学 (数学Ⅲ・ 数学C)	理科	小論文	小計	
数理・自然情報科学科	200	(100)	(100)	200	200	200	900	300	250	250	/	800	1,700
物理科学科	200	(100)	(100)	200	200	200	900	/	/	/	/	/	900
化 学 科	200	(100)	(100)	200	200	200	900	/	/	/	300	300	1,200
地質科学科	200	(100)	(100)	200	200	200	900	300	※①250	※① ※② 250	/	800	1,700
生物科学科	200	(100)	(100)	200	200	200	900	200	/	※③600	/	800	1,700
物質循環学科	200	(100)	(100)	200	200	200	900	300	/	※③500	/	800	1,700

注1 配点に()の付してある教科は、選択教科を表します。

注2 大学入試センター試験で「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。

注3 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

注4 配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

※① 配点に網目の付してある教科は、「数学」及び「理科」を含めた中からの選択を表します。

※② 「理科」1科目についての配点で、2科目選択受験の場合は500点となります。

※③ 「理科」2科目の合計得点の配点となります。

7 注意事項

出願手続後の受験科目の変更は認めません。

8 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。

5 医学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/>)

〈アドミッション・ポリシー〉

理念

豊かな人間性、広い学問的視野と課題探求能力を身につけた臨床医、医療技術者や医学研究者などを育成するとともに、高度で個性的な医科学研究を行います。医科学の教育・研究と医療活動を発展させることによって地域貢献を果たし、国際交流に寄与します。

教育目標

- (1) 医に携わる者としての基本的な知識・技能・態度を修得させる。
- (2) 医学的問題点の把握と自発的に解決する能力を培う。
- (3) 豊かな人間性と医に携わる者としての倫理観を育てる。
- (4) 幅広い教養教育を通して、人間としての教養をたかめる。
- (5) 国際交流ができる外国語能力を育成する。

医学科の求める学生像

医学部医学科ではこんな人を求めています。

- (1) 医師となる明確な目的意識を持っていること
- (2) 医学を学んでゆくにあたって必要な基礎学力があること
- (3) 医師となるのにふさわしい協調性、決断力、積極性を持っていること
- (4) 病める人を救う情熱、思いやりと奉仕の心、倫理観を持っていること
- (5) 将来の人類のために創造的な医学研究を志向する探求心を持っていること

上記を満たすために、高等学校では以下の科目を身につけていることが望めます。

- ① 数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学Cについての十分な知識・技能と数学的思考法
- ② 理科：物理，化学，生物，地学についての基礎的知識と科学的な思考力
- ③ 地理歴史，公民：世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理，政治経済についての基礎的知識と社会的素養
- ④ 国語：十分な読解力，思考力，表現力
- ⑤ 英語：十分な読解力，表現力，会話能力
- ⑥ 特別活動及び課外活動を通じた自主的，協調的な態度や思いやりと奉仕の心

保健学科の求める学生像

保健学科は専門性の異なる看護学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻で構成されています。保健・医療においては専門性を追求するだけでなく、刻々と変化していく社会情勢や科学に対応し、様々な職種間の連携をとることが必要です。

このため、保健学科は、次のような資質を備えた学生を強く望んでいます。

- (1) “人”に深い関心と思いやりを持ちうる人
- (2) 絶え間なく進歩する科学を理解・適用していくための基礎学力と論理的能力のある人
- (3) 社会に対し積極的に関わり、専門職としての役割を果たそうとする意欲のある人

保健学科に入学するまでに学んでほしいこと

保健・医療・福祉領域における医療職者の役割は、拡大し、多様化してきました。医療職者には、人間の命の尊さを真摯に理解し、人を思いやる心を持ち、幅広い基礎知識と応用力、たゆみない探究心により、社会に対しても積極的に関わり役割を果たそうとする意欲を持つことが求められます。

このため、保健学科に入学するまでに高等学校等において次のようなことを身につけていることが望めます。

- (1) 国語・英語に関しては、基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・論理的思考力
- (2) 数学に関しては、「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学A」，「数学B」の知識と論理的思考方法
- (3) 理科に関しては、「物理」，「化学」，「生物」の基礎的な知識と科学的に探究する姿勢
- (4) 地理歴史・公民に関しては、刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と応用力
- (5) 特別活動及び課外活動等を通じた自主的，協調的な態度や思いやりと奉仕の心

〈前 期 日 程〉

1 募集人員

学科・専攻		募集人員
医 学 科		55人
保健学科	看護学専攻	50人
	検査技術科学専攻	23人
	理学療法学専攻	15人
	作業療法学専攻	15人
	小 計	103人
計		158人

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

学科	教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等	
医 学 科	国 語		「国語」	左欄の科目	
	地理歴史		「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1 解答科目を利用します。)	
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学		①	「数学Ⅰ・数学A」	左欄の科目
			②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科		「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から2科目	
外国語		「英語」	左欄の科目		
保 健 学 科	国 語		「国語」	左欄の科目	
	地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は第1 解答科目を利用します。)	
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学		①	「数学Ⅰ・数学A」	左欄の科目
			②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科		「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」	左欄から2科目	
外国語		「英語」	左欄の科目		

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は, 職業教育を主とする学科, 総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

3 個別学力検査実施教科・科目等

学 科	受 験 教 科 ・ 科 目 等
医 学 科	数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C)(※1)
	外国語(英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング)
	小論文(※2)
	面接(※3)
保 健 学 科	数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B)(※4)
	外国語(英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング)

※1 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を, 数学Cは「確率分布」及び「統計処理」を除きます。

※2 小論文は, 指定された字数内で論述する方式です。

※3 面接は, 数名を1グループとして実施します。場合によってはさらに個別面接を行うことがあります。

※4 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を除きます。

4 個別学力検査等実施日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教 科 等	時 間
2月25日(火)	医 学 科	数 学	9:30~12:00
		外 国 語	13:30~15:00
		小 論 文	16:00~17:00
2月26日(水)	保 健 学 科	数 学	9:30~11:30
		外 国 語	13:30~15:00
2月26日(水)	医 学 科	面 接	9:00~

(2) 検査場

信州大学松本キャンパス
長野県松本市旭3-1-1

(69ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 採点・評価基準

〈医 学 科〉

大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績、小論文、面接、調査書及び志願調書の内容を総合して行います。なお、勉強意欲と医学への動機付けがあり、医学科が求めている人物である者を総合的に評価して選抜します。

〈保 健 学 科〉

大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して行います。

6 大学入試センター試験、個別学力検査等の配点及び合否判定基準

種 別	大学入試センター試験							個 別 学 力 検 査 等					合 計	
	国語	地理 歴史	公 民	数 学	理 科	外 国 語	小 計	数 学	理 科	外 国 語	小 論 文	面 接		小 計
医 学 科	100	(50)	(50)	100	100	100	450	150		150	100※		400	850
保 健 学 科	100	(50)	(50)	100	100	100	450	200		200			400	850

注1 配点に()の付してある教科は、選択教科を表します。

注2 大学入試センター試験で「地理歴史」及び「公民」を2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

注3 大学入試センター試験の「英語」の得点については、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算して利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

注4 医学科の※印の小論文、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

注5 医学科では、大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績、小論文、面接、調査書及び志願調書の内容を総合して判定します。

注6 保健学科では、大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して判定します。

7 その他

出願については5~9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10~11ページ、追加合格については11~12ページを参照してください。

〈後期日程〉

1 募集人員

学科・専攻		募集人員
医 学 科		45人
保健学科	看護学専攻	10人
	検査技術科学専攻	9人
	理学療法学専攻	3人
	作業療法学専攻	3人
	小 計	25人
計		70人

2 医学科の2段階選抜について

- (1) 綿密な選抜を実施するため、志願者数が募集人員の20倍を超えた場合には、大学入試センター試験の成績、調査書の内容及び志願調書の内容を総合して第1段階選抜を行い、その合格者について、個別学力検査及び必要により面接を実施します。
- (2) 第1段階選抜の結果については、平成26年2月17日（月）に次の方法によりお知らせします。
 - ① 第1段階選抜を実施しなかった場合は、志願者全員に受験票を郵送します。
 - ② 第1段階選抜を実施した場合は、15時に本学部構内掲示板に選抜の結果を掲示するとともに、合格者には受験票を、不合格者には不合格通知を郵送します。

なお、個別面接該当者へは、受験票とともにその旨通知します。

第1段階選抜の結果、不合格となった志願者に対しては、検定料17,000円のうち13,000円をお返しします。また、返還手続については、不合格通知に同封しお知らせします。

※ 保健学科については、2段階選抜を行いません。

3 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

学科	教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等	
医 学 科	国語		「国語」	左欄の科目	
	地理歴史		「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1 解答科目を利用します。)	
	公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学		①	「数学Ⅰ・数学A」	左欄の科目
			②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科			「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から2科目
外 国 語			「英語」	左欄の科目	
保 健 学 科	国語		「国語」	左欄の科目	
	地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1 解答科目を利用します。)	
	公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学		①	「数学Ⅰ・数学A」	左欄の科目
			②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科			「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」	左欄から2科目
外 国 語			「英語」	左欄の科目	

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は, 職業教育を主とする学科, 総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

4 個別学力検査実施教科・科目等

学 科	受 験 教 科 ・ 科 目 等
医 学 科	数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C)(※1)
	外国語(英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング)
保 健 学 科	面接(※2)

※1 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を, 数学Cは「確率分布」及び「統計処理」を除きます。

※2 面接は, 数名を1グループとして実施します。

5 個別学力検査等実施日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教 科 等	時 間
3月12日(水)	医 学 科	数 学	9:30~12:00
		外 国 語	13:30~15:00
	保 健 学 科	面 接	9:00~
3月13日(木)	医 学 科	個別面接 (該当者のみ。(次ページ参照))	9:00~

(2) 検査場

信州大学松本キャンパス
長野県松本市旭3-1-1

(69 ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成 26 年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

6 採点・評価基準

〈医 学 科〉

大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績、調査書の内容、志願調書の内容及び個別面接（下記の該当者のみ。）を総合して行います。なお、勉強意欲と医学への動機付けがあり、医学科が求めている人物である者を総合的に評価して選抜します。

〈保健学科〉

大学入試センター試験の成績、面接及び調査書の内容を総合して行います。

7 大学入試センター試験、個別学力検査等の配点及び合否判定基準

種別	大学入試センター試験							個別学力検査等				合計	
	教科等 学科・専攻	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	小計	数学	外国語	面接		小計
医 学 科	100	(50)	(50)	100	100	100	450	250	250		500	950	
保 健 学 科	看護学専攻	100	(50)	(50)	100	100	100	450			200	200	650
	検査技術科学専攻	100	(50)	(50)	200	200	100	650			200	200	850
	理学療法学専攻	100	(50)	(50)	100	100	100	450			200	200	650
	作業療法学専攻	100	(50)	(50)	100	100	100	450			200	200	650

注1 配点に（ ）の付してある教科は、選択教科を表します。

注2 大学入試センター試験で「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

注3 大学入試センター試験の「英語」の得点については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

注4 医学科では、綿密な選抜を実施するため、志願者数が募集人員の20倍を超えた場合には、大学入試センター試験の成績、調査書の内容及び志願調書の内容を総合して第1段階選抜を行います。その合格者に個別学力検査及び必要により面接を実施し、それらと調査書及び志願調書の内容を総合して判定します。

注5 医学科では、高等学校卒業程度認定試験合格者及び医学科が必要と認めた場合等については、個別面接を行い、総合判定します。

個別面接は個別学力検査の翌日の3月13日（木）に実施します。

注6 保健学科では、大学入試センター試験の成績、面接及び調査書の内容を総合して判定します。

8 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。

6 工学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>)

〈アドミッション・ポリシー〉

理念

本学部は、恵まれた自然環境の中で個性を生かし、基礎的学力の素養のもとに工学の幅広い専門的知識を有する創造性豊かな人材を養成します。

また、工学技術と環境保全との調和に深く関心を持って人類社会に貢献し、高度情報化社会における学際的技術の研究開発や国際化に対応できる人材を育成します。

教育目標

本学部は、基礎学力の向上を重視しつつ専門並びに学際分野の知識の修得を基盤にし、創造力の育成と課題探求能力および工学的問題解決能力を開発する教育を行います。さらに、自らの思考・判断を説明するためのプレゼンテーション能力を有し、専門基礎知識に基づいた発展的な議論を展開できる能力を育成します。また、地球環境保全などに対する技術者倫理をそなえ、国際的視野に立ってさまざまな分野で貢献できるための行動力や自立心を有する人材を養成します。

求める学生像

- (1) 向上心があり、自ら考え行動することができる人
- (2) 数学、物理学、化学、語学などの基礎を身につけている人
- (3) 科学や技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について関心を持っている人
- (4) 高度な科学や技術の発展に興味をもち、それを学びたいと考えている人
- (5) 実験や実習、講義、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- (6) 将来、工学に関わる技術者、研究者として社会をリードするとともに、その技術と知識をもって社会に貢献する意欲を持つ人
- (7) 科学技術・工学の発展が社会にもたらす影響について十分に考え、社会および自然環境に配慮した「人にやさしいものづくり」を目指す人

〔大学入学までに履修すべき教科・科目〕

各高等学校が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、工学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学、理科、英語に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C

理科：物理Ⅰ、物理Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ

英語：英語Ⅰ、英語Ⅱ、オーラルコミュニケーション、リーディング、ライティング

※上記科目を履修していない場合には、入学時までに科目の内容を理解していることが望まれます。

〈前期日程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	55人
電 気 電 子 工 学 科	65人
土 木 工 学 科	32人
建 築 学 科	38人
物 質 工 学 科	38人
情 報 工 学 科	30人
環 境 機 能 工 学 科	30人
計	288人

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等
国語		「国語」	左欄の科目
地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)
公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
数 学	①	「数学I」, 「数学I・数学A」	左欄から1科目
	②	「数学II」, 「数学II・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
理 科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理I」, 「化学I」, 「生物I」, 「地学I」	左欄から2科目
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

3 個別学力検査実施教科・科目等

学 科	教 科 ・ 科 目 等
機械システム工学科 電気電子工学科 土木工学科 建築学科 情報工学科	数学(数学I・数学II・数学III・数学A・数学B・数学C) 理科(物理I・物理II)
物質工学科 環境機能工学科	数学(数学I・数学II・数学III・数学A・数学B・数学C) 理科(「物理I・物理II」, 「化学I・化学II」から1科目選択)

注1 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を、数学Cは「行列とその応用」及び「式と曲線」を範囲とします。

注2 物理IIは「力と運動」, 「電気と磁気」及び「物質と原子」のうち「原子, 分子の運動」を範囲とします。

注3 化学IIの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。

4 個別学力検査等日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教科等及び時間
2月25日(火)	全 学 科	数学 9:30~11:30
		理科 13:00~15:00

(2) 検 査 場

- ① 「入学志願票(前期日程用)」の「検査場」欄の希望する検査場に必ず○印を記入してください。
- ② 名古屋検査場の収容人員には限りがありますので、検査場の決定は出願書類の受付順とします。名古屋検査場で受験を希望する者の数とその収容人員を超えた場合には、長野検査場で受験することになります。受験票を送付する際に、決定した検査場をお知らせします。
なお、決定した検査場以外では、いかなる理由があっても受験できません。

- ③ 名古屋検査場に関する照会・問い合わせは、信州大学工学部入試事務室(Tel026-269-5055)までお願いします。ポートメッセなごやへは一切行わないでください。

〈長野検査場〉 信州大学長野(工学)キャンパス 長野市若里4-17-1

〈名古屋検査場〉ポートメッセなごや 愛知県名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地
(69ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

5 大学入試センター試験、個別学力検査等の配点及び合否判定基準

種別 教科 学科	大学入試センター試験							個別学力検査等			合計
	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	小計	数学	理科	小計	
全 学 科	100	(50)	(50)	150	150	200	650	250	250	500	1,150

注1 配点に()の付してある教科は、選択教科を表します。

注2 大学入試センター試験で「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

注3 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

注4 配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

6 その他

(1) 出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。

(2) 本学部入学生には、授業等で常時携帯して使用するための各学科で指定した、ノート型パソコンを入学時に用意していただいております。購入手続及びパソコンの仕様等詳細につきましては、合格通知書送付時にご連絡いたしますが、あらかじめご承知おきくださるようお願いいたします。

なお、既にノート型パソコンをお持ちの方は、授業で使用するために必要な環境の整備を各自で行っていただくことになりますので、ご承知願います。

〈後期日程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
建 築 学 科	11人
情 報 工 学 科	20人
環 境 機 能 工 学 科	10人
計	41人

2 志望学科の選択

本学部「後期日程」では、建築学科、情報工学科、環境機能工学科の中から、第1・第2・第3志望を選択することができます。

ただし、大学入試センター試験で志望学科が指定する科目を受験している必要があります。

(「3 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等」参照)

3 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

学 科	教 科	グループ	出 題 科 目	受験を要する科目等	
建 築 学 科 情 報 工 学 科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目	
	地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」,	左 欄 から 1 科 目 (2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します。)	
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学	①		「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 から 1 科 目
		②		「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左 欄 から 1 科 目
	理 科		「物理Ⅰ」 「理科総合A」, 「理科総合B」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」	左 欄 の 科 目 左 欄 から 1 科 目	
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左 欄 から 1 科 目		
環 境 機 能 工 学 科	国 語		「国語」	左 欄 の 科 目	
	地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左 欄 から 1 科 目 (2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します。)	
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
	数 学	①		「数学Ⅰ」, 「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 から 1 科 目
		②		「数学Ⅱ」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左 欄 から 1 科 目
	理 科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左 欄 から 2 科 目	
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左 欄 から 1 科 目		

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

4 個別学力検査実施教科・科目等

学 科	教 科 ・ 科 目 等
建 築 学 科 情 報 工 学 科 環 境 機 能 工 学 科	面 接

※ 建築学科は、面接の参考とするためのスケッチを含みます。黒鉛筆(4B)と消しゴム(練りゴム)を持参してください。

5 個別学力検査等採点・評価基準

面接における各学科の評価方法の要点は、次のとおりです。

学 科	採 点 ・ 評 価 基 準
建 築 学 科	積極性・将来性等の人物面、建築学への関心の高さを重視
情 報 工 学 科	入学意欲、自主性、発想力と将来性を特に重視
環 境 機 能 工 学 科	環境への関心、表現力、論理性等を重視

6 個別学力検査等日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期 日	学 科	教 科 等 及 び 時 間
3月12日（水）	建 築 学 科 情 報 工 学 科 環 境 機 能 工 学 科	面接 10：00～

(2) 検 査 場

後期日程の検査場は、長野検査場のみとなります。

〈長野検査場〉信州大学長野（工学）キャンパス 長野市若里4-17-1
 (69 ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

7 大学入試センター試験、個別学力検査等の配点及び合否判定基準

種別 学科	教科	大学入試センター試験						個別学力検査等		合計	
		国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	小計	面接		小計
建 築 学 科 情 報 工 学 科 環 境 機 能 工 学 科		100	(50)	(50)	200	200	200	750	250	250	1,000

注1 配点に（ ）の付してある教科は、選択教科を表します。

注2 大学入試センター試験で「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

注3 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

注4 配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

注5 当該学科を第1志望とする受験者が募集人員に達しなかった場合に生ずることになる欠員補充に限り、第2・第3志望の合否を判定します。第2・第3志望の合否判定は大学入試センター試験の得点により行います。

8 その他

(1) 出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。

(2) 本学部入学生には、授業等で常時携帯して使用するための各学科で指定した、ノート型パソコンを入学時に用意していただいております。購入手続及びパソコンの仕様等詳細につきましては、合格通知書送付時にご連絡いたしますが、あらかじめご承知おきくださるようお願いいたします。

なお、既にノート型パソコンをお持ちの方は、授業で使用するために必要な環境の整備を各自で行っていただくこととなりますので、ご承知願います。

7 農 学 部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/>)

〈アドミッション・ポリシー〉

理 念

自然豊かな環境のもとで、豊かな人間性と幅広い教養を築き、農学に関する広い知識・技術を涵養して、専門的な知識や研究能力を養成します。さらに、地球的な広い視野と現実的な視点に立って問題をとらえ解決する能力を持つ人材を育成します。

教育目標

- (1) 持続的社会的創造に貢献する人間性豊かな人材の育成
- (2) 社会の一員としての問題意識の醸成と実践性、倫理性、国際性を備えた人材の育成
- (3) 農学分野の基礎能力と応用能力を持つ人材の養成
- (4) フィールド研究と実験研究が連携する教育の実践

求める学生像

自然と人が共生する持続的社会的創造を目指す人を求めています。食料生産, 持続的農林業, 森林と田園環境の保全, 生命現象, 食と健康に関わる課題探求に意欲的に取り組み, 「食と緑」の科学を展開して社会に貢献する熱意ある人を歓迎します。

※ 食料生産科学科及び応用生命科学科については、入学前に化学及び生物を十分に学習しておくことが望まれます。

森林科学科については、入学前に数学Ⅱを十分に学習しておくことが望まれます。また、入学後の学修・研究の目標設定のため、理科及び地理歴史・公民について総合的に学習しておくことが望まれます。

〈前 期 日 程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
食 料 生 産 科 学 科	40人
森 林 科 学 科	29人
応 用 生 命 科 学 科	25人
計	94人

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

学 科	教 科	グループ	出 題 科 目	受験を要する科目等
食料生産科学科	国 語		「国語」(近代以降の文章)	左 欄 の 科 目
	数 学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科		「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」	左欄から2科目
外国語		「英語」	左 欄 の 科 目	
森 林 科 学 科	国 語		「国語」(近代以降の文章)	左 欄 の 科 目
	地理歴史		「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します。)
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
	数 学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左欄から2科目
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目	
応用生命科学科	国 語		「国語」(近代以降の文章)	左 欄 の 科 目
	数 学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
	理 科		「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」	左欄から2科目
外国語		「英語」	左 欄 の 科 目	

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

3 個別学力検査教科・科目等

学 科	受 験 教 科 ・ 科 目 等
食料生産科学科	理 科 (「化学Ⅰ・化学Ⅱ」, 「生物Ⅰ・生物Ⅱ」から一つ選択)
森 林 科 学 科	小論文
応用生命科学科	理 科 (「化学Ⅰ・化学Ⅱ」, 「生物Ⅰ・生物Ⅱ」から一つ選択)

注1 化学Ⅱの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。

注2 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。

4 採点・評価基準

理科は、化学又は生物のいずれかの選択となっており、論理的思考能力、基礎学力などの高校で学習したことを評価します。

小論文は、分析力、問題発見及び解決能力、表現力、創造力などを総合的に評価します。

5 個別学力検査等日程及び検査場

(1) 期日及び時間

学科 教科等	期日 2月25日 (火)	
	理 科	小論文
食料生産科学科	13:00～14:30	
森 林 科 学 科		13:00～14:30
応用生命科学科	13:00～14:30	

(2) 検 査 場

信州大学南箕輪キャンパス 長野県上伊那郡南箕輪村8304

詳細については、受験票に同封して通知します。

(69ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

6 大学入試センター試験，個別学力検査等の配点及び合否判定基準

種別 学科 教科等	大学入試センター試験							個別学力検査等			合計
	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小計	理科	小論文	小計	
食料生産科学科	100			200	200	200	700	200		200	900
森 林 科 学 科	100	(100)	(100)	200	200	200	800		200	200	1,000
応用生命科学科	100			200	200	200	700	200		200	900

注1 配点に()の付してある教科は、選択教科を表します。

注2 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

注3 大学入試センター試験で「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

注4 配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

7 注意事項

前期日程の受験について、出願手続後の受験科目の変更は認めません。(食料生産科学科、応用生命科学科)

8 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。

〈後 期 日 程〉

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
食 料 生 産 科 学 科	10人
森 林 科 学 科	12人
応 用 生 命 科 学 科	15人
計	37人

2 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

学 科	教 科	グ ル ー プ	出 題 科 目	受 験 を 要 す る 科 目 等
食 料 生 産 科 学 科	数 学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左 欄 から 1 科 目
	理 科		「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」	左 欄 から 2 科 目
	外 国 語		「英語」	左 欄 の 科 目
森 林 科 学 科	国 語		「国語」(近代以降の文章)	左 欄 の 科 目
	地 理 歴 史		「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」	左 欄 から 1 科 目 (2科目受験した場合は, 第1 解答科目を利用します。)
	公 民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
	数 学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左 欄 から 1 科 目
	理 科		「理科総合A」, 「理科総合B」, 「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」, 「地学Ⅰ」	左 欄 から 2 科 目
外 国 語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓 国語」	左 欄 から 1 科 目	
応 用 生 命 科 学 科	国 語		「国語」(近代以降の文章)	左 欄 の 科 目
	数 学	①	「数学Ⅰ・数学A」	左 欄 の 科 目
		②	「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左 欄 から 1 科 目
	理 科		「物理Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」	左 欄 から 2 科 目
外 国 語		「英語」	左 欄 の 科 目	

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は, 職業教育を主とする学科, 総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

3 個別学力検査教科・科目等

学 科	受 験 教 科 ・ 科 目 等
食 料 生 産 科 学 科	面 接
森 林 科 学 科	小 論 文
応 用 生 命 科 学 科	面 接

4 採点・評価基準

面接は、学習意欲、将来性、創造性などを総合的に評価します。

小論文は、分析力、問題発見及び解決能力、表現力、創造力などを総合的に評価します。

5 個別学力検査等日程及び検査場

(1) 期日及び時間

学科 教科等	期日 3月12日（水）	
	面接	小論文
食料生産科学科	9：00～	
森 林 学 科 科		9：00～11：00
応用生命科学科	9：00～	

(2) 検 査 場

信州大学南箕輪キャンパス 長野県上伊那郡南箕輪村8304

詳細については受験票に同封して通知します。

(69 ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

6 大学入試センター試験、個別学力検査等の配点及び合否判定基準

学科 教科等	種別	大学入試センター試験						個別学力検査等			合計	
		国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	小計	面接	小論文		小計
食料生産科学科					200	400	200	800	200		200	1,000
森 林 学 科 科		100	(100)	(100)	200	200	200	800		100	100	900
応用生命科学科		100			200	200	200	700	※1		※1	700 ※2

※1 段階評価をします。

※2 大学入試センター試験の成績及び個別学力検査等における面接の内容を総合して行います。

注1 配点に（ ）の付してある教科は、選択教科を表します。

注2 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

注3 大学入試センター試験で「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

注4 配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

7 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。

8 繊維学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>)

〈アドミッション・ポリシー〉

理念

豊かな自然に抱かれた本学部は、衣・食・住の要である“繊維”に根ざした伝統的な科学技術を背景として、学際的先端科学技術のさらなる展開を図り、21世紀における文化創造科学技術を開拓します。さらに、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者を養成します。そして、地球環境と共生し、人類社会の発展と平和、福祉の向上に資することを理念とします。

教育目標

- (1) 優れた人格の形成
 - 豊かな人間性 ●社会に対する貢献と責任意識 ●高い倫理観
- (2) 進展する科学技術と社会の変化に対応しうる能力、未来創造能力
 - 課題設定・探求能力 ●普遍的基礎学力 ●学際・業際領域を開く創造的能力
 - 自己啓発能力 ●チャレンジ精神・起業家精神（ベンチャー精神）
- (3) 基礎学力に裏付けされた専門性
 - 専門的能力 ●実践的能力 ●経営・企画等能力（マネジメント能力）
- (4) 国際性
 - 自国文化・異文化理解力 ●外国語能力と個性豊かな表現力
- (5) 情報処理能力

以上を涵養し、技術者、将来の研究者として十分な基礎的素養を身につけ、総合的視野と高い能力を備えた人材を養成します。

求める学生像

繊維学部では次のような学生を求めます。

- (1) 高い志を持ち、現代の多様な学問分野を融合した学際領域的な科学技術を学ぶことに強い関心を持つ学生
- (2) 明確な目的意識と強い勉学意欲を持ち、進化する科学技術に対応するように、より高い専門的・実践的能力を得ることを目指していく学生
- (3) 地域社会や国際社会に貢献するために必要な、豊かな教養と人間性を高めようとする意欲を持った学生

大学入学までに身につけておくべき教科・科目

各高等学校が定める教育課程表に従い、国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民等、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、繊維学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学及び理科に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

・普通科の場合

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C

理科：繊維・感性工学系 … 物理Ⅰ、物理Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ

機械・ロボット学系 … 物理Ⅰ、物理Ⅱ

化学・材料系 … 物理Ⅰ、物理Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ

応用生物科学系 … 生物Ⅰ、生物Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ

・普通科以外の場合

各高等学校の教育課程表に従い、履修可能な数学及び理科に関するできるだけ多くの科目

〈前期日程〉

1 募集人員

系・課程		募集人員
繊維・感性工学系	先進繊維工学課程	10人
	感性工学課程	10人
	小計	20人
機械・ロボット学系		25人
化学・材料系		60人
応用生物科学系		20人
計		125人

2 志望系の選択

本学部「前期日程」では、繊維・感性工学系の各課程及び機械・ロボット学系、化学・材料系、応用生物科学系の中から、第1・第2志望を選択することができます。なお、第1・第2志望ともに繊維・感性工学系の課程を選択することも可能です。

3 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等
国語		「国語」(近代以降の文章)	左欄の科目
地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は、第1解答科目を利用します。)
公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
数学	①	「数学I・数学A」	左欄の科目
	②	「数学II・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
理科		「物理I」, 「化学I」, 「生物I」	左欄から2科目
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

4 個別学力検査実施教科・科目

系・課程		教科・科目等
繊維・感性工学系	先進繊維工学課程	理科(「物理I・物理II」, 「化学I・化学II」, 「生物I・生物II」から1科目選択)
	感性工学課程	
機械・ロボット学系		
応用生物科学系		
化学・材料系		理科(「化学I・化学II」)

注1 高等学校学習指導要領に記載されている「物理II」の内容のうち、選択分野「物質と原子」及び「原子と原子核」を除き出題します。

注2 化学IIの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。

注3 生物IIの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。

5 所属課程とカリキュラムについて

- ◆ 繊維・感性工学系は課程別に入試を実施し、1年次から課程別カリキュラムで学習します。
- ◆ 機械・ロボット学系は系で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属課程（機能機械学課程，バイオエンジニアリング課程）を決定し、2年次から課程別カリキュラムで学習します。
- ◆ 化学・材料系は系で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属課程（応用化学課程，材料化学工学課程，機能高分子学課程）を決定し、2年次から課程別カリキュラムで学習します。
- ◆ 応用生物科学系は系で入試を実施し、2年次後期に学生の希望と1年次及び2年次前期の成績により所属課程（生物機能科学課程，生物資源・環境科学課程）を決定し、2年次後期から課程別カリキュラムで学習します。

6 個別学力検査等日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期日	系・課程	教科等及び時間
2月25日(火)	全系・課程	理科 13:00～14:30

(2) 検査場

- ① 「入学志願票（前期日程用）」の「検査場」欄の希望する検査場に必ず○印を記入してください。
- ② 名古屋検査場の収容人員には限りがありますので、検査場の決定は出願書類の受付順とします。名古屋検査場での受験を希望する者の数とその収容人員を超えた場合には、上田検査場で受験することになります。受験票を送付する際に、決定した検査場の案内を同封します。
なお、決定した検査場以外では、いかなる理由があっても受験できません。
- ③ 名古屋検査場に関する照会・問い合わせは、信州大学繊維学部入試事務室（TEL0268-21-5310）までお願いします。ポートメッセなごやへは一切行わないでください。

〈上田検査場〉 信州大学上田キャンパス 上田市常田3-15-1

〈名古屋検査場〉 ポートメッセなごや 愛知県名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地

（69 ページからの「IV 各学部検査場案内」を参照してください。）

（注）受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

7 採点・評価基準

大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して行います。

8 大学入試センター試験、個別学力検査等の配点及び合否判定基準

種別 系・課程	教科等	大学入試センター試験						個別学力検査等		合計	
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小計	理科		小計
全系・課程		50	(25)	(25)	200	100	125	500	200	200	700

注1 配点に（ ）の付してある教科は、選択教科を表します。

注2 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点を換算して利用します。

注3 配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

注4 合否判定は、系・課程ごとに第1志望を優先し、総合点の順位により行います。ただし、第2志望受験者は次の計算式により総合点を算出し、第1志望受験者に加えて判定します。

$$\text{第2志望での総合点} = (\text{センター試験小計} + \text{個別学力検査小計}) \times 0.9$$

注5 個別学力検査の選択科目による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。

9 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。

〈後期日程〉

1 募集人員

系・課程		募集人員
繊維・感性工学系	先進繊維工学課程	10人
	感性工学課程	10人
	小計	20人
機械・ロボット学系		20人
化学・材料系		32人
応用生物科学系		20人
計		92人

2 志望系の選択

本学部「後期日程」では、繊維・感性工学系の各課程及び機械・ロボット学系、化学・材料系、応用生物科学系の中から、第1・第2志望を選択することができます。なお、第1・第2志望ともに繊維・感性工学系の課程を選択することも可能です。

3 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

教科	グループ	出題科目	受験を要する科目等
国語		「国語」(近代以降の文章)	左欄の科目
地理歴史		「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」	左欄から1科目 (2科目受験した場合は, 第1解答科目を利用します。)
公民		「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」	
数学	①	「数学I・数学A」	左欄の科目
	②	「数学II・数学B」, 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」	左欄から1科目
理科		「物理I」, 「化学I」, 「生物I」	左欄から2科目
外国語		「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左欄から1科目

注1 「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

注2 「英語」はリスニングを課します。

4 個別学力検査実施教科・科目

系・課程	教科・科目等
全系・課程	理科（「物理Ⅰ・物理Ⅱ」，「化学Ⅰ・化学Ⅱ」，「生物Ⅰ・生物Ⅱ」から1科目選択） 数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）

注1 高等学校学習指導要領に記載されている「物理Ⅱ」の内容のうち、選択分野「物質と原子」及び「原子と原子核」を除き出題します。

注2 化学Ⅱの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。

注3 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。

注4 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を除き、数学Cは「確率分布」及び「統計処理」を除き、出題します。

5 所属課程とカリキュラムについて

- ◆ 繊維・感性工学系は課程別に入試を実施し、1年次から課程別カリキュラムで学習します。
- ◆ 機械・ロボット学系は系で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属課程（機能機械学課程，バイオエンジニアリング課程）を決定し、2年次から課程別カリキュラムで学習します。
- ◆ 化学・材料系は系で入試を実施し、2年進級時に学生の希望と1年次の成績により所属課程（応用化学課程，材料化学工学課程，機能高分子学課程）を決定し、2年次から課程別カリキュラムで学習します。
- ◆ 応用生物科学系は系で入試を実施し、2年次後期に学生の希望と1年次及び2年次前期の成績により所属課程（生物機能科学課程，生物資源・環境科学課程）を決定し、2年次後期から課程別カリキュラムで学習します。

6 個別学力検査等日程及び検査場

(1) 期日及び時間

期日	系・課程	教科及び時間
3月12日(水)	全系・課程	理科 9:30～10:45
		数学 11:30～13:10

(2) 検査場

後期日程の検査場は、上田検査場のみとなります。

〈上田検査場〉 信州大学上田キャンパス 上田市常田3-15-1
(69ページからの「Ⅳ 各学部検査場案内」を参照してください。)

(注) 受験の際は、「信州大学の受験票」及び「平成26年度大学入試センター試験の受験票」を必ず持参してください。

7 採点・評価基準

大学入試センター試験の成績，個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して行います。

8 大学入試センター試験、個別学力検査の配点及び合否判定基準

種別 系・課程 教科等	大学入試センター試験							個別学力検査			合計
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小計	数学	理科	小計	
全系・課程	100	(100)	(100)	200	200	200	800	200	200	400	1,200

注1 配点に（ ）の付してある教科は、選択教科を表します。

注2 「外国語」のうち「英語」を受験した方の得点については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。
なお、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点を換算して利用します。

注3 配点に従い、総合点及び調査書の内容を総合して判定します。

注4 合否判定は、系・課程ごとに第1志望を優先し、総合点の順位により行います。ただし、第2志望受験者は次の計算式により総合点を算出し、第1志望受験者に加えて判定します。

$$\text{第2志望での総合点} = (\text{センター試験小計} + \text{個別学力検査小計}) \times 0.9$$

注5 個別学力検査の選択科目による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。

9 その他

出願については5～9ページ、合格者の発表については10ページ、入学手続については10～11ページ、追加合格については11～12ページを参照してください。

Ⅲ 入学志願票の記入例等

平成26年度 信州大学入学志願票 (A) (前期日程用) (後期日程用) と同じ

志望学部	教育	学部	受験番号	※
フリガナ	シンシュウ タロウ		生年月日	昭和 7 年 5 月 3 日生 平成 (満 18 才)
氏名	信州太郎		性別	(男) ・ 女
出願資格	出身学校		卒業等年月	
	長野 都・道 府・県		昭和 平成 26 年 3 月 卒業見込・卒業 修了見込・修了	
出願資格	国立 公立 私立		学科	
	(公立) 松本 高等学校 中等教育学校		普通科 理数科 農業科 工業科 商業科 総合学科 その他()	

→ 志望する学部を記入してください。

→ 平成26年4月1日現在の満年齢を記入してください。

→ 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の合格者は、「出身学校」欄への記入は不要です。ただし、「卒業等年月」欄の「高卒認定試験等合格」を○で囲み、受験地等必要事項を記入してください。

→ 学科欄の「その他」を○で囲んだ場合は、()内に当該学科名を記入してください。

平成26年度大学入試センター試験で受験した教科・科目すべてに○を付してください。ただし、「地理歴史、公民」、「理科」で2科目受験した方は、第1解答科目に「①」、第2解答科目に「②」と記入してください。

教科	国語	地理歴史			公民			数学①		数学②		理科			外国語												
○印欄	○			②				①	○	○	○		①	②		○	○										
科目等	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅱ	工業数理基礎	簿記・会計	情報関係基礎	理科総合A	理科総合B	物理	化学	生物	地学	英語筆記	リスニング	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語

注1 志望する学部が受験することを課した教科・科目を受験しているか、受験教科・科目のすべてに○を付したか、「地理歴史、公民」、「理科」で2科目受験した方は「①」、「②」と記入したが、必ず確認してください。例年、「国語」欄への記入を忘れる方が多いので注意してください。

注2 網目の科目は、出願について制限がありますので特に注意してください。

→ 大学入試センター試験で受験した科目すべてに○を付してください。

→ 「地理歴史、公民」、「理科」で2科目受験した方は、第1解答科目に「①」、第2解答科目に「②」と記入してください。

→ 「国語」を受験した方は、科目は一つですが、必ず「国語」欄に○を付してください。

受信場所 (志願者連絡先)	〒123-4567 長野県〇〇市〇〇1-2-3	電話	0263-77-XXXX
		携帯電話	090-6666-XXXX
保護者	氏名	信州一郎	
	住所	〒154-0011 東京都〇〇区〇〇3-2-1	電話 携帯電話

→ 郵便番号、〇〇荘△号、〇〇〇方、市外局番等もなく記入してください。

→ 電話番号は緊急の際に必ず連絡のつく番号を記入してください。

→ 受信場所(志願者連絡先)を変更した場合は、直ちに受験番号、氏名を明記のうえ、出願した学部の入試事務室に届け出てください。

【出願書類等の記入上の注意】

1. 太枠内にかい書でいねいに記入してください。
2. ※印欄は記入しないでください。
3. 黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
4. 誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に訂正してください。(訂正印は不要)修正内容が明確に分かるようであれば、文字が記入欄からはみ出てもかまいません。
5. この募集要項に添付する長形3号封筒(受験票等送付用返信封筒)には、志願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、360円分の切手を貼り、出願書類等とともに提出してください。
6. 出願書類等を郵送する場合には、同封してある角形4号封筒によることとし、出願する学部名・住所・郵便番号を明記し、「書留速達」としてください。
なお、持参する場合も同封してある角形4号封筒を利用してください。

出願書類等(6ページ参照)

次のものが整っているか確認して、提出(郵送)してください。

- 入学志願票 (A)
- 入学志願票 (B)
- 受験票
- 写真票
- 調査書(出身学校長作成・厳封)
- 入学検定料納付確認書(A票)
- 受験票等送付用封筒(指定封筒-長形3号)
- ラベル票
- 志願調書[医学部医学科志願者のみ]
- 出願書類等到着通知はがき[医学部医学科(後期日程)志願者のみ]
- 実技検査(音楽)受験曲目届[教育学部音楽教育コース志願者のみ]
- 音楽の伴奏用楽譜[教育学部音楽教育コース志願者のみ]
- 実技検査(美術)受験種目届[教育学部図画工作・美術教育コース(前期日程)志願者のみ]
- 実技検査(運動)選択種目届[教育学部保健体育コース、地域スポーツコース、野外教育コース(前期日程)志願者のみ]
- 実技検査(運動)受験種目届[教育学部保健体育コース、地域スポーツコース、野外教育コース(後期日程)志願者のみ]

(大学入試センター試験成績請求票) 前 国公立前期日程用 後 国公立後期日程用 } 貼付

前期日程用

□内のみ必要事項を記入(又は貼付)してください。
※印欄は記入しないでください。

平成26年度 信州大学入学志願票(B)

志望学部	教育 学部	フリガナ	シン シュウ ハナコ
		氏 名	信 州 花 子
区分	受験番号	種別	前 平成26センター試験成績請求票 国公立前期日程用
2	※	前	貼付欄 (全面のりつけ)
1		4	
	2 3 4 5 6 7 8 9	10	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

学部	学科(課程・コース・専攻・系)	コード	
人 文	人 文 学 科	1 0	
教 育	現代教育	0 1	
	国語教育	1 0	
	英語教育	1 1	
	社会科教育	1 2	
	数学教育	1 3	
	理科教育	1 4	
	音楽教育	1 5	
	図画工作・美術教育	1 6	
	保健体育	1 7	
	ものづくり・技術教育	1 8	
	家庭科教育	1 9	
	特別支援学校教員養成課程	2 0	
	生涯スポーツ	3 0	
	地域スポーツ課程	3 1	
	野外教育	3 1	
	教育カウンセリング課程	4 0	
	経 済	経 済 学 科	1 E
		経 済 シ ス テ ム 法 学 科	2 L
	理 学	数理・自然情報科学科	1 0
物 理 科 学 科		2 0	
化 学 科 学 科		3 0	
地 質 科 学 科		4 0	
生 物 科 学 科		5 0	
物 質 循 環 学 科		6 0	
医 学		医 学 科 学 科	0 0
		看護学	0 1
		保健学科	0 2
		検査技術科学	0 2
	理学療法学	0 3	
作業療法学	0 4		
工 学	機械システム工学科	1 0	
	電 気 電 子 工 学 科	2 0	
	土 木 工 学 科	3 0	
	建 築 学 科	7 0	
	物 質 工 学 科	4 0	
	情 報 工 学 科	5 0	
	環 境 機 能 工 学 科	6 0	
	農 学	食 料 生 産 科 学 科	0 1
		森 林 科 学 科	0 2
		応 用 生 命 科 学 科	0 3
織 維	繊維・感 先進繊維工学	1 1	
	性工学系	1 2	
	感性工学	1 2	
	機械・ロボッ 工学系	2 0	
化学・材料系	3 0		
応用生物科学系	4 0		
第2志望なし	9 9		

<以下は志望する学部のみ記入してください。>

人文学部	志望学科	検査場
	人 文 学 科	松本 東京 大阪
	1 0	0 30 31 32
	24 25	

志望学科欄に「人文」と記入してください。
検査場欄は、希望する欄に○印を付けてください。

理学部	志望学科	選択科目
	地 質 科 学 科	物 I 化 I 生 I 地 I
	4 0	0 30 31 32 33
	24 25	

志望する学科名を記し、地質科学科を志望する方は、右のコード表の該当するコードを記入してください。口頭試験の選択1科目該当するコードを記入し、口頭試験の選択1科目に○印を付けてください。

教育学部	志望課程(コース)	受験科目コード
	第1志望 学校教育教員養成 (現代教育 コース)	0 1 0 1
	第2志望 学校教育教員養成 (国語教育 コース)	1 0 0 1
		26 27 32 33

希望する課程・コース名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。ただし、特別支援学校教員養成課程及び教育カウンセリング課程のコース記入は不要です。
なお、第2志望のない場合はコード「99」と記入してください。
無記入の場合は「第2志望なし」とみなします。

<教育学部受験科目コード>

受験科目コード	受験科目	受験時間帯	
01	国語	B	
02	英語		
03	数学(I・II・III・A・B・C)		
05	数学(I・II・A・B)+物理		
06	数学(I・II・A・B)+化学		
07	数学(I・II・A・B)+生物		
08	数学(I・II・A・B)+地学		
13	物理+化学		A
14	物理+生物		
15	物理+地学		
16	化学+生物		
17	化学+地学		
18	生物+地学		
20	実技検査(音楽)	D	
21	実技検査(美術)		
22	実技検査(運動)		
28	小論文		
29	地理歴史, 公民	C	
	国語	B	
30	地理歴史, 公民	C	
	英語	B	
	地理歴史, 公民	C	
31	数学(I・II・III・A・B・C)	A	

経済学部	志望学科	選択教科/検査場
	経 済 学 科	国語 数学 外国語 松本 東京 大阪 松本 東京 大阪 松本 東京 大阪
	1 E	0 30 31 32 33 34 35 36 37 38
	24 25	

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。選択教科/検査場欄は、希望する欄に○印を付けてください。

農学部	志望学科	選択科目
	食 料 生 産 科 学 科	化 I 生 I 化 II 生 II
	0 1	0 31 32
	24 25	

志望する学科名を記入し、食料生産科学科及び応用生命科学科し、右のコード表の該当するコードを記入してください。は生I・生IIのいずれかを選択する科目の該当欄に○印を付けてください。

医学部	志望学科(専攻)
	保 健 学 科 検査技術科学 専攻
	0 2
	24 25

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
なお、保健学科を志望する方は専攻名も記入してください。

工学部	志望学科	検査場
	物 質 工 学 科	長野 名古屋
	4 0	0 30 31
	24 25	

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
検査場欄は、希望する欄に○印を付けてください。
「物質工学科」及び「環境機能工学科」を志望する方は、受験する理科の科目の該当欄に○印を付けてください。

選択する受験科目	理科
物質工学科志望者	物 I 化 I 物 II 化 II
環境機能工学科志望者	物 I 化 I 物 II 化 II
	0 32 33
	0 32 33

繊維学部	志望系(課程)	検査場	
	第1志望 応用生物科学 系	第2志望 繊維・感性工学 系	上田 名古屋
	4 0	1 2	0 30 31
	24 25		26 27

志望する系名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
なお、繊維・感性工学系を志望する方は、課程名も記入してください。
また、第2志望のない場合はコード「99」と記入してください。無記入の場合は「第2志望なし」とみなします。
検査場欄は、希望する欄に○印を付けてください。

選択する受験科目	理科
先進繊維工学課程志望者	物 I 化 I 生 I 物 II 化 II 生 II
感性工学課程志望者	0 32 33 34
繊維・ロボッ 学系志望者	0 32 33 34
応用生物科学系志望者	0 32 33 34

「先進繊維工学課程」、「感性工学課程」、「機械・ロボッ学系」及び「応用生物科学系」を志望する方は、受験する理科の科目の該当欄に○印を付けてください。

後期日程用

□内のみ必要事項を記入(又は貼付)してください。
※印欄は記入しないでください。

平成26年度 信州大学入学志願票(B)

志望学部	理 学部	フリガナ	シンシュウタロウ
		氏 名	信州 太郎

区分	受験番号	種別	後
2	※	後	5
1	2 3 4 5 6 7 8 9	10	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

後	平成26センター試験成績請求票
	国公立後期日程用
	貼付欄 (全面のりつけ)

学部	学科(課程・コース・専攻・系)	コード	
人文	人文学科	10	
教育	現代教育	01	
	国語教育	10	
	英語教育	11	
	社会科教育	12	
	数学教育	13	
	理科教育	14	
	音楽教育	15	
	図画工作・美術教育	16	
	保健体育	17	
	ものづくり・技術教育	18	
	家庭科教育	19	
	特別支援学校教員養成課程	20	
	生涯スポーツ	30	
	地域スポーツ	30	
	野外教育	31	
	教育カウンセリング課程	40	
	経済	経済学	1E
	経済システム法	2L	
	理	数理・自然情報科学	10
物理学		20	
化学		30	
地質科学		40	
生物科学		50	
物質循環学		60	
医	看護学	00	
	看 護 学	01	
	検査技術科学	02	
	理学療法	03	
工	建築学	04	
	情報工学	70	
	環境機能工学	60	
	食料生産科学	01	
農	森林科学	02	
	応用生命科学	03	
	繊維・感性工学	11	
繊維	先進繊維工学	11	
	感性工学	12	
	機械・ロボット工学	20	
	化学・材料系	30	
応用生物科学系	40		
第2志望なし	99		
第3志望なし	99		

<以下は志望する学部のみ記入してください。>

志望学科	人文学科
10	24 25

志望学科欄に「人文」と記入してください。

志望課程(コース)	生涯スポーツ
31	24 25

希望する課程・コース名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。

特別支援学校教員養成課程及び教育カウンセリング課程のコース記入は不要です。

志望学科	経済学
1E	24 25

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。

志望学科	数理・自然情報科	選択科目																														
10	24 25	<table border="1"> <tr> <td>数学</td> <td>理科</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>III</td> <td>物I</td> <td>化I</td> <td>生I</td> <td>地I</td> <td>理</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>物II</td> <td>化II</td> <td>生II</td> <td>地II</td> <td>総</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>34 35</td> </tr> </table>	数学	理科					III	物I	化I	生I	地I	理	C	物II	化II	生II	地II	総						B		30	31	32	33	34 35
数学	理科																															
III	物I	化I	生I	地I	理																											
C	物II	化II	生II	地II	総																											
					B																											
	30	31	32	33	34 35																											

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。

選択科目のみ記入してください。
・数理・自然情報科学科を志望する方は、理科の中から一つ選択し、該当欄に○印を付してください。
・地質科学科を志望する方は、数学・理科を含めた中から二つ選択し、該当欄に○印を付してください。
・生物科学科・物質循環科学科を志望する方は、理科の中から二つ選択し、該当欄に○印を付してください。
・理科総合Bは地質科学科を志望する方のみ選択できます。

志望学科(専攻)	保健
01	24 25

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
なお、保健学科を志望する方は、専攻名も記入してください。

志望学科	森林科
02	24 25

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。

工学部	志望学科		
	第1志望	第2志望	第3志望
	建築 学科	情報工 学科	環境機能工 学科
	70	50	60
	24 25	26 27	28 29

志望する学科名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
なお、第2・第3志望のない場合はコード「99」と記入してください。無記入の場合は、「第2・第3志望なし」とみなします。

繊維学部	志望系(課程)		選択科目
	第1志望	第2志望	理科
	応用生物科学 系	繊維・感性工学 系	物I
	40	12	生I
	24 25	26 27	物II
			生II
			0
			30 31 32

志望する系名を記入し、右のコード表の該当するコードを記入してください。
なお、繊維・感性工学系を志望する方は、課程名も記入してください。
また、第2志望のない場合はコード「99」と記入してください。無記入の場合は「第2志望なし」とみなします。

選択する1科目の該当欄に○印を付してください。

IV 各学部検査場案内

各学部とも以下の検査場で実施します。詳細については、受験票に同封してお知らせします。

学部	検査場連絡先・交通案内	検査場略図
人文学部・経済学部・理学部・医学部	<p>松本キャンパス 松本市旭3-1-1</p> <p>JR 松本駅「お城口（東口）」を出て右前方アリオ1階松本バスターミナルのりば1の“信大横田循環線”又は“浅間線”に乗車（約15分）、「信州大学前」下車、徒歩2分。</p> <p>人文学部 Tel 0263-37-3458 （前期日程は東京検査場及び大阪検査場も設けます。70ページ参照。）</p> <p>経済学部 Tel 0263-37-3312 （前期日程は東京検査場及び大阪検査場も設けます。70ページ参照。）</p> <p>理学部 Tel 0263-37-2439</p> <p>医学部医学科 Tel 0263-37-2580</p> <p>医学部保健学科 Tel 0263-37-2357</p>	
教育学部	<p>長野（教育）キャンパス 長野市西長野6の口 Tel 026-238-4044</p> <p>JR 長野駅善光寺口を出てアルピコバス1番のりばから“善光寺・西条経由若槻東条行”“善光寺・若槻団地経由若槻東条行”“善光寺経由宇木行”のいずれかに乗車（10分）、「大門南」下車、徒歩5分。</p>	
工学部	<p>長野（工学）キャンパス 長野市若里4-17-1 Tel 026-269-5055 （前期日程は名古屋検査場も設けます。71ページ参照。）</p> <ul style="list-style-type: none"> JR 長野駅東口から徒歩約20分。 JR 長野駅東口を出て長野電鉄バス1番のりばから“日赤・水野美術館・アークス行”乗車（5分）、「信大工学部」下車、正門まで徒歩2分。 JR 長野駅善光寺口を出てアルピコバス2番のりばから“日赤経由大塚南行”乗車（8分）、「信大工学部前」下車、正門まで徒歩5分。 	
農学部	<p>南箕輪キャンパス 長野県上伊那郡南箕輪村8304 Tel 0265-77-1310</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央道高速バス「中央道伊那インター」、「伊那インター前」下車、徒歩15分。 JR 飯田線伊那市駅下車、伊那バスターミナル「伊那営業所」から西箕輪線に乗車（17分）、「大学入口」下車、徒歩5分。路線バスは本数が少ないので、注意してください。 	

学部	検査場連絡先・交通案内	検査場略図
織 維 学 部	<p>上田キャンパス 上田市常田3-15-1 Tel 0268-21-5310 (前期日程は名古屋検査場も設けます。 71ページ参照。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR・しなの鉄道上田駅お城口から徒歩20分。又はタクシーで5分。 ・ JR・しなの鉄道上田駅お城口を出て1番のりばから千曲バス“鹿教湯行”“武石行”のいずれかに乗車(5分)、「昭栄前」下車、徒歩5分。 ・ JR・しなの鉄道上田駅お城口を出て4番のりばから上田バス“市内循環東コース”乗車(5分)、「イオン上田ショッピングセンター前」下車、徒歩5分。 	
人 文 学 部 ・ 経 済 学 部 東 京 検 査 場 (前 期 日 程 の み)	<p>國學院大學渋谷キャンパス 東京都渋谷区東4-10-28 人文学部 Tel 0263-37-3458 経済学部 Tel 0263-37-3312</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR 山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線 渋谷駅下車、徒歩約13分。 ・ JR 埼京線渋谷駅下車、新南口から徒歩約10分。 ・ 都営バス (渋谷駅東口バスターミナル54番のりば 学03日赤医療センター行) 「国学院大学前」下車。(渋谷駅から3番目の停留所、所要時間約10分。) 	
人 文 学 部 ・ 経 済 学 部 大 阪 検 査 場 (前 期 日 程 の み)	<p>大阪医科大学本部キャンパス 大阪府高槻市大学町2番7号 人文学部 Tel 0263-37-3458 経済学部 Tel 0263-37-3312</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR 東海道線高槻駅下車、南口から徒歩8分。 ・ 阪急京都線高槻市駅下車、1番出口から徒歩3分。 	

学部	検査場連絡先・交通案内	検査場略図
工学部・繊維学部 名古屋検査場 (前期日程のみ)	<p>ポートメッセなごや 愛知県名古屋市港区金城ふ頭 二丁目2番地 工学部 TEL 026-269-5055 繊維学部 TEL 0268-21-5310</p> <p>※ 名古屋検査場に関する照会・問い合わせは、信州大学工学部又は繊維学部入試事務室までお願いします。ポートメッセなごやへは一切行わないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あおなみ線で「金城ふ頭駅」下車、徒歩5分。 	

一般入試学生募集要項・大学案内等の請求方法

1 信州大学のホームページから請求する請求方法

信州大学のホームページからテレメールを利用して募集要項等の資料請求ができます。
詳しくは、信州大学ホームページ (<http://www.shinshu-u.ac.jp/>) の「入試情報」をご覧ください。

2 インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話による請求方法（学生募集要項の受付は平成 26 年 1 月 30 日まで）

① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	http://telemail.jp	携帯電話でバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。	
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約11円。		

② あなたが希望する資料請求番号(6桁)をプッシュ又は入力してください。複数の資料を希望する場合には、希望する資料請求番号を続けてプッシュ又は入力してください。

資料名	資料請求番号	料金	資料名	資料請求番号	料金
学生募集要項	487878	290円	理学部案内	487892	180円
信州大学案内	487875	290円	医学部案内	487893	210円
学生募集要項+信州大学案内	487879	340円	工学部案内	487894	290円
人文学部案内	487889	210円	農学部案内	487895	180円
教育学部案内	487890	210円	繊維学部案内	487896	210円
経済学部案内	487891	140円			

③ あとはガイダンスに従って登録してください。

※ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日の翌日から2～3日程で資料が届きます。

※ 発送開始日以降に請求された資料は請求してから2～3日程で届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4日以上かかる場合もあります。なお、5日以上経っても届かない場合には、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

※ 送料は、お届けする資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。支払方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「携帯電話通話料金と一緒に支払い」がご利用になれます。支払いに際して手数料が別途必要になります(手数料は支払方法によって異なります。)。料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

※ 自動音声応答電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりお話しください。登録された音声不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。

3 郵便局での請求方法（受付期間：平成 26 年 1 月 24 日まで）

郵便局（簡易郵便局を除く。）に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要事項を記入のうえ、送料と払込手数料 120 円を添えて、ゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口でお申し込みください。受付から1週間程度で資料が届きます。（発送開始日以前のお申し込みでは発送開始日の翌日から3日程で届きます。）郵便局用願書請求カタログは、高等学校で入手できる場合もあります。

資料名	送料
学生募集要項	290円

※ 1, 2, 3の請求についてのお問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

4 信州大学へ直接請求する場合の請求方法

返信用角形2号封筒(33cm×24cm)に請求者の郵便番号、住所、氏名を記載し、送料分の切手を貼り、別の封筒に入れ、各学部の入試事務室又は学務部入試課あてに請求してください。その際、請求用封筒の裏にも請求者の住所、氏名、電話番号を記載してください。「はがき」による請求には応じられません。また、送料の受取人払いの取り扱いはできませんので、注意してください。

資料名	請求用封筒の表書き(封筒左側に朱書き)	送料(切手代)
学生募集要項	「募集要項請求」	290円
信州大学案内	「信州大学案内請求」	290円
学生募集要項+信州大学案内	「募集要項・信州大学案内請求」	340円

5 請求及び問い合わせ先

(土曜日・日曜日、祝日及び休日は、取り扱いません。電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。)

請求先	問い合わせ先(電話)	
人文学部入試事務室 経済学部入試事務室 理学部入試事務室 医学部医学科入試事務室 医学部保健学科入試事務室	〒390-8621 松本市旭3-1-1	0263-37-3458
		0263-37-3312
		0263-37-2439
		0263-37-2580
		0263-37-2357
教育学部入試事務室	〒380-8544 長野市西長野6の口	026-238-4044
工学部入試事務室	〒380-8553 長野市若里4-17-1	026-269-5055
農学部入試事務室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村8304	0265-77-1310
繊維学部入試事務室	〒386-8567 上田市常田3-15-1	0268-21-5310
学務部入試課	〒390-8621 松本市旭3-1-1	0263-37-3450

■ この要項に関する問い合わせ先

人文学部入試事務室	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL (0263) 37-3458
経済学部入試事務室	〃	TEL (0263) 37-3312
理学部入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2439
医学部医学科入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2580
医学部保健学科入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2357
教育学部入試事務室	〒380-8544 長野市西長野 6 の口	TEL (026) 238-4044
工学部入試事務室	〒380-8553 長野市若里 4-17-1	TEL (026) 269-5055
農学部入試事務室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304	TEL (0265) 77-1310
繊維学部入試事務室	〒386-8567 上田市常田 3-15-1	TEL (0268) 21-5310
学務部入試課	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL (0263) 37-2192

■ 信州大学ホームページアドレス <http://www.shinshu-u.ac.jp/>

■ 携帯電話サイトアドレス <http://daigakuje.jp/shinshu-u/>